

## &lt; 論 説 &gt;

## 現代中国における高学歴若年層の就転職事情(2)

—就転職機会の獲得にともなう高学歴若年層の地域間移動(1)—

柳 澤 和 也

## 目 次

はじめに

第1章 北京市・上海市・広州市・鄭州市・合肥市・南昌市の人材交流会求職者の出生地別属性比較

第2章 河南省・安徽省・江西省出身者の就転職地別属性比較

おわりに

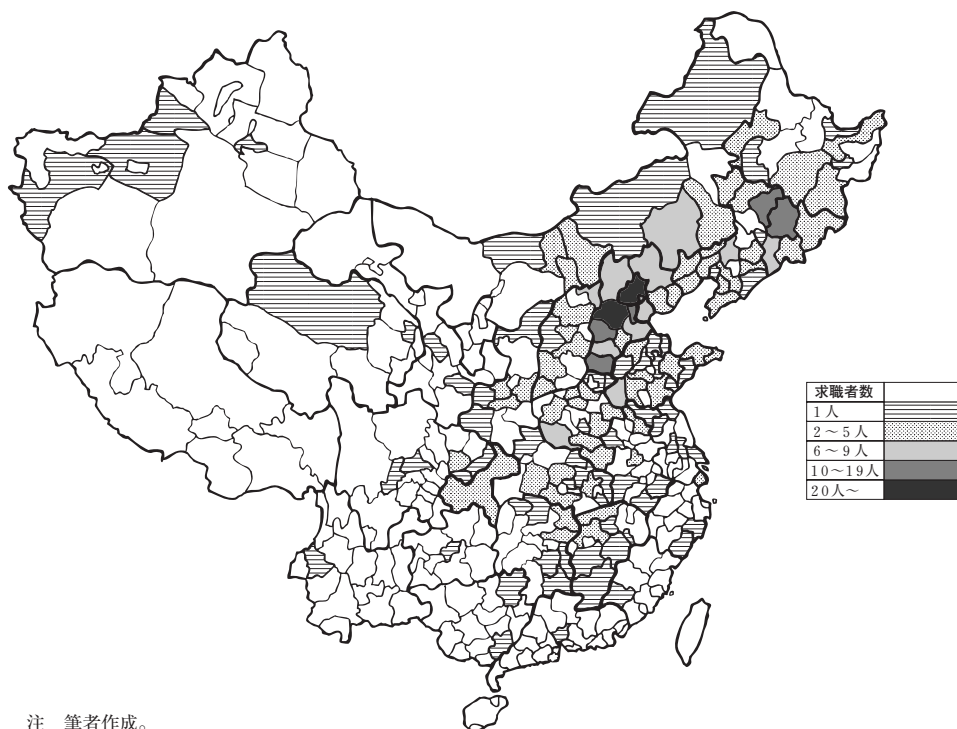
## はじめに

本稿は、前稿<sup>1</sup>に続いて、中国の地方政府<sup>2</sup> 人事廳／局傘下の公的機関である「人材市場」（「人材市場」は、高学歴者を対象にする公共職業安定所に相当し、英語名称は、Talent Market / Human Resources Marketである。「人材市場」は、以下、鉤括弧を省略する。）<sup>3,4</sup> や民間企業によって中国各都市で定期的に主（供）催されている「人材交流会」（「人材交流会」は、一般に合同面接会と訳される。「人材交流会」は、以下、鉤括弧を省略する。）で実施した独自のアンケート調査の結果を分析するものである。

前稿は、22 機関が主（共）催した延べ 24 の人材交流会で実施したアンケート調査の結果の概略を報告したものであったが、本稿は、図 1・2・3・4・5・6 に示したように、三大経済圏の中心都市であって相当数の市外出身者を集めている北京市・上海市・広州市で開催された人材交流会で実施したアンケート調査の結果と北京市・上海市・広州市の人材交流会に多数の求職者を送りだしている鄭州市・合肥市・南昌市で開催された人材交流会で実施したアンケート調査の結果に限定した考察を行う<sup>5</sup>。北京市は、異なる機関が主催する人材交流会でアンケート調査を 2 回実施したが、求人企業と求職者が多かった第 2 回の結果を分析する<sup>6</sup>。また、上海市と広州市は、同一機関が主（共）催する人材交流会で 2 回ずつアンケート調査を実施したが、いずれも第 2 回の結果を分析する。上海市と広州市の第 2 回のアンケート調査は、上海市と広州市の第 1 回のアンケート調査よりも北京市の第 2 回のアンケート調査の実施日に近いことに加え、記入漏れが少ないという点で精度も高く、比較が容易である。

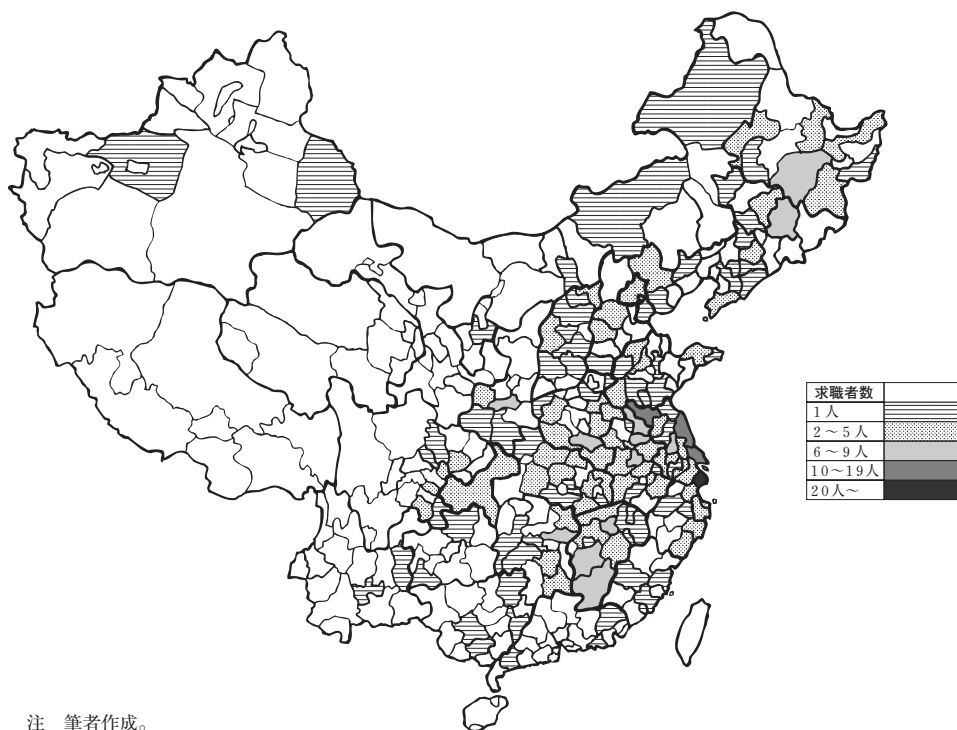
本稿の課題は、大別して 2 つある。ひとつは、6 市の人材交流会を訪れた求職者をそれぞれ市内出身者と市外出身者とに区分し、就転職機会の獲得にともなう出生地である二（一）級行政区<sup>7</sup> に止まる者と出生地でない二（一）級行政区へ地域間移動を行う者の属性を 6 市ごとに比較

図 1 北京市の人材交流会における求職者の出身地の分布



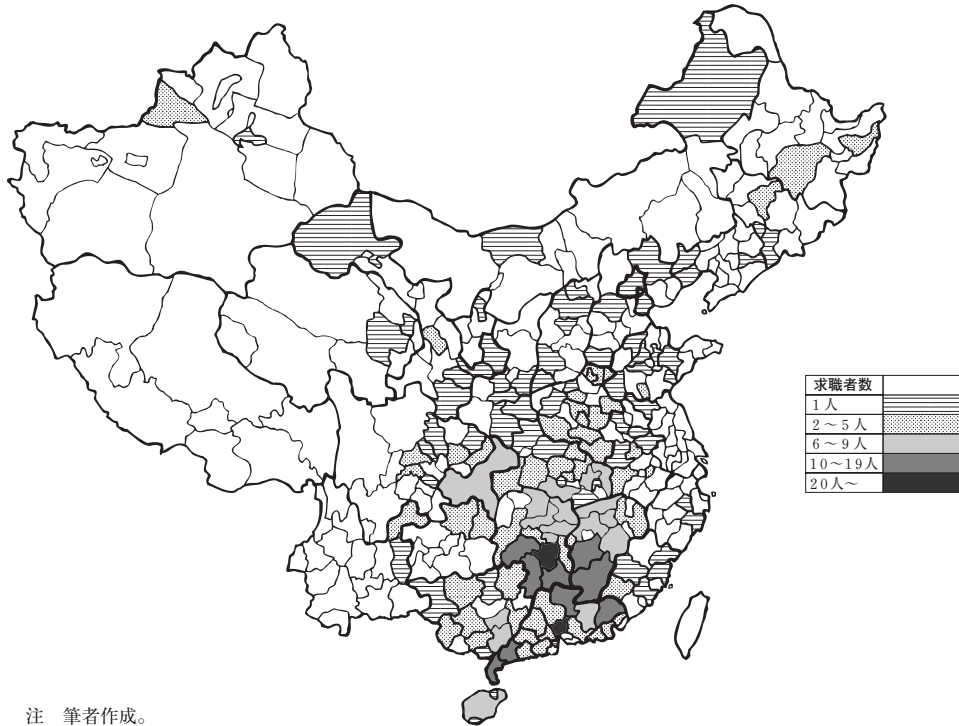
注 筆者作成。

図 2 上海市の人材交流会における求職者の出身地の分布



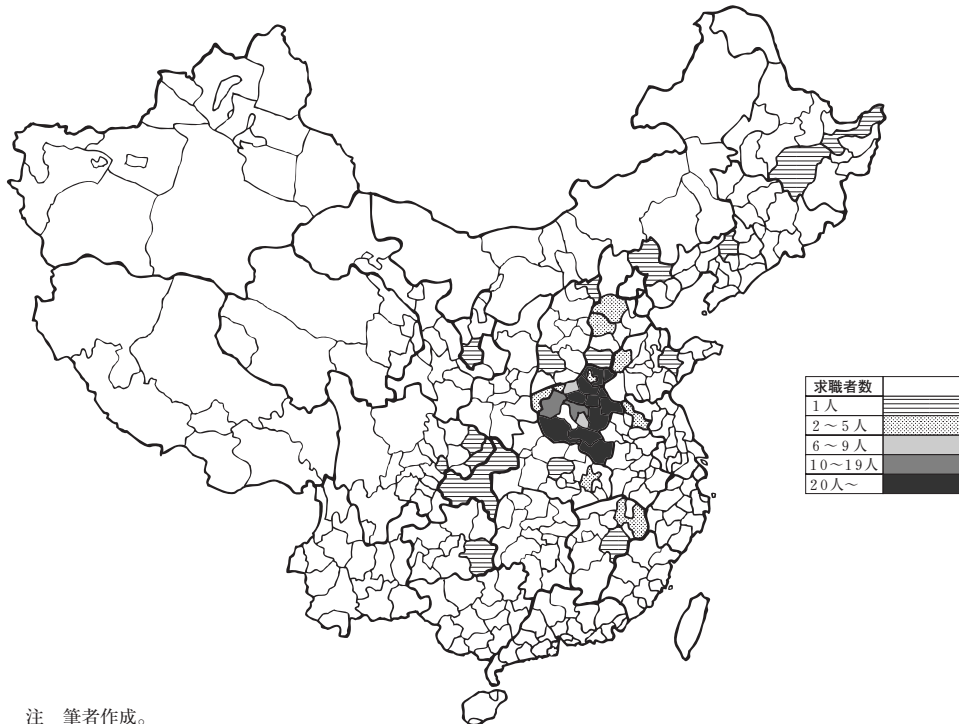
注 筆者作成。

図3 広州市の人材交流会における求職者の出身地の分布



注 筆者作成。

図4 鄭州市の人材交流会における求職者の出身地の分布



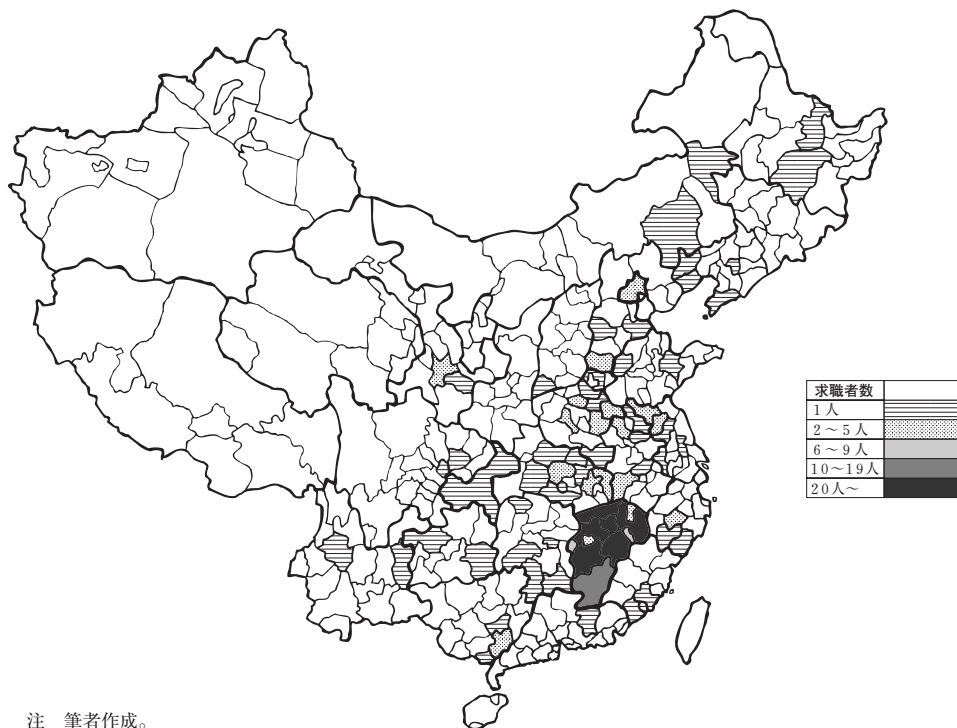
注 筆者作成。

図 5 合肥市の人材交流会における求職者の出身地の分布



注 筆者作成。

図 6 南昌市の人材交流会における求職者の出身地の分布



注 筆者作成。

することである<sup>8</sup>。もうひとつは、鄭州市・合肥市・南昌市を省都とする河南省・安徽省・江西省の出身者のみを6市の人材交流会を訪れた求職者から抽出し、省都（省内）に就転職機会を求める者と北京市・上海市・広州市（省外）に就転職機会を求める者の属性を3省出身者別に比較することである。本稿の目的は、この2つの課題に取り組むことを通じて、就転職機会の獲得にともなう高学歴若年層の地域間移動の動向を明らかにし、中国全土に共通する高学歴若年層の労働供給の特徴を浮き彫りにすることにある。

さて、以下でいう◎◎市の人材交流会とは、筆者と共同研究者である鄭曉穎がアンケート調査を実施した人材市場と民間企業の当該人材交流会を指す。高学歴若年層とは、高等教育機関である「大学専科」（「大学専科」は、2年制・3年制大学であり、一般に「大専」と呼ばれる。「大学専科」は、以下、鉤括弧を省略する。）<sup>9</sup>卒業、「大学本科」（「大学本科」は、4年制大学である。「大学本科」は、以下、鉤括弧を省略する。）卒業、「研究生院碩士・博士課程」（「研究生院碩士・博士課程」は、大学院博士前後期課程である。「研究生院碩士・博士課程」は、以下、大学院博士前後期課程と表記する。）修了のいずれかの学歴を有する者と有することになる者で35歳未満の者を指している。もっとも、本稿は、就転職機会の獲得にともなう高学歴若年層の地域間移動の動向に迫る必要上、アンケート回答者に含まれる非高学歴若年層、すなわち最終学歴が「高級中学」（「高級中学」は、高等学校である。「高級中学」は、以下、高校と表記する。）・「中等專業学校」（「中等專業学校」は、中等専門学校である。「中等專業学校」は、以下、中専と表記する。）卒以下の者と35歳以上の者<sup>10</sup>をも比較対象として加えた分析を行う<sup>11</sup>。また、本稿は、相当数の市外出身者を集めている北京市・上海市・広州市を人材流入都市、北京市・上海市・広州市の人材交流会に多数の求職者を送りだしている鄭州市・合肥市・南昌市を人材流出都市と呼ぶことにしたい。

なお、本稿は、前稿と同様に、筆者が単独で執筆したものであり、本稿の内容とありうる誤謬に関する責任は、すべて筆者に帰する。

## 第1章 北京市・上海市・広州市・鄭州市・合肥市・南昌市の人材交流会求職者の出生地別属性比較

最初に、6市の人材交流会を訪れた求職者をそれぞれ市内出身者と市外出身者とに区分し、就転職機会の獲得にともなう出生地である二（一）級行政区に止まる者と出生地でない二（一）級行政区へ地域間移動を行う者の属性を6市ごとに比較していきたい。なお、以下に示す求職者の諸属性の構成は、同一の人材市場や民間企業が主（共）催する人材交流会であっても、開催時期や出展企業（の求人内容）によって毎回変動している。しかし、その変動幅は、同一の人材市場と民間企業が主（共）催する人材交流会で時期をずらして2度のアンケート調査を試みた上海市と広州市の結果に示されたように、在学／在職構成とそれに連動した平均年齢と年齢構成および志望職務構成を除けばあまり大きくない。極論すれば、同一の人材市場と民間企業が主（共）催する人材交流会を訪れる求職者の構成は、むしろ固定しているとさえいえる。求職者の属性

が固定する原因は、6市の地理的位置に加え、6市と6市に就転職機会を求める者の出生地に固有の高等教育機関数や平均月給額などの短期的には不変の社会経済条件に求められる。

### 1. 男女構成〔表1・2〕

人材流入都市の人材交流会は、市外出身者に占める男性比率が市内出身者のそれに比較して高い<sup>12</sup>。上海市の人材交流会は、両者の差が10.2ポイントにものぼった。人材流入都市に就転職機会を求める高学歴若年層は、男性が女性に比較して多いといえる。

対照的に、人材流出都市である合肥市と南昌市の人材交流会は、市外出身者に占める男性比率が市内出身者のそれに比較して低い。とりわけ合肥市の人材交流会で市外出身者に占める男性比率が50%を切る理由は、安徽省出身者を中心とする近隣の男性高学歴者の相当数が合肥市ではなく人材流入都市に就転職機会を求めているためであろう。

なお、やはり人材流出都市である鄭州市の人材交流会は、人材流入都市の人材交流会と同様に、市外出身者に占める男性比率が市内出身者のそれに比較して高い。しかし、この理由は、人材流入都市の人材交流会とはまったく異なると思われる。河南省は、一級行政区最大の人口を擁しており<sup>13</sup>、後述するように、学歴や年齢などの属性によって人口流入都市では就転職機会の獲得に不利な立場におかれる男性の若年層が絶対数で多いと推察される。そうした男性の若年層の多くは、不本意かもしれないが省内に就転職機会を求めざるをえず、省内で相対的に求人数が多い省都の鄭州市に集中するに相違ない。

表1 人材流入都市・男女構成

		全回答者		
		男性	女性	
北京市		529	281	248
		100.0%	53.1%	46.9%
	市内	91	46	45
		100.0%	50.5%	49.5%
上海市	市外	438	235	203
		100.0%	53.7%	46.3%
		518	329	189
		100.0%	63.5%	36.5%
広州市	市内	122	68	54
		100.0%	55.7%	44.3%
	市外	396	261	135
		100.0%	65.9%	34.1%
鄭州市		534	391	143
		100.0%	73.2%	26.8%
	市内	31	22	9
		100.0%	71.0%	29.0%
合肥市	市外	503	369	134
		100.0%	73.4%	26.6%

表2 人材流出都市・男女構成

		全回答者		
		男性	女性	
鄭州市		491	362	129
		100.0%	73.7%	26.3%
	市内	124	87	37
		100.0%	70.2%	29.8%
合肥市	市外	367	275	92
		100.0%	74.9%	25.1%
		500	235	265
		100.0%	47.0%	53.0%
南昌市	市内	141	74	67
		100.0%	52.5%	47.5%
	市外	359	161	198
		100.0%	44.8%	55.2%
鄭州市		482	355	127
		100.0%	73.7%	26.3%
	市内	178	137	41
		100.0%	77.0%	23.0%
合肥市	市外	304	218	86
		100.0%	71.7%	28.3%

## 2. 平均年齢〔表3・4〕

人材流入都市と人材流出都市の人材交流会のいずれも、市外出身者の平均年齢が市内出身者のそれに比較して低い。この理由は、後述する年齢構成の分析結果から窺えるように、市外出身者に占める非若年者比率が市内出身者のそれに比較して低いためである<sup>14</sup>。市外出身者は、市内出身者に比較して非若年者比率が低く、その分だけ平均年齢が低く算出されるのである。

また、人材流出都市である合肥市の人材交流会は、市外出身者の平均年齢が22.9歳、女性に限定すると21.9歳になる。合肥市の人材交流会は、後述するように、市外出身者に占める大学専科卒の学歴を有する者（既卒者）と有することになる者（卒業見込者）（◎◎◎の学歴を有する者（既卒者）と有することになる者（卒業見込者）は、以下、◎◎◎卒者と表記する。）の比率が高く、大学本科卒者比率と大学院博士前後期課程修了者比率が低くなる分だけ平均年齢が低くなる。察するに、安徽省は、男女構成の分析にあたって指摘したように、男性の大学本科卒者と大学院博士前後期課程修了者の相当数が人材流入都市に就転職機会を求めているか、あるいは省内出身者に占める大学本科卒者と大学院博士前後期課程修了者の比率がそもそも低いのであろう。

表3 人材流入都市・平均年齢

	全回答者				
		男性	女性		
北京市		25.0	25.5	24.5	
		[529]	[281]	[248]	
	市内		25.9	26.8	25.0
			[91]	[46]	[45]
市外		24.8	25.2	24.4	
		[438]	[235]	[203]	
上海市		26.4	27.3	24.9	
		[517]	[328]	[189]	
	市内		27.6	30.0	24.5
			[122]	[68]	[54]
市外		26.0	26.6	25.0	
		[395]	[260]	[135]	
広州市		26.0	26.8	24.1	
		[534]	[391]	[143]	
	市内		26.8	28.2	23.6
			[31]	[22]	[9]
市外		26.0	26.7	24.2	
		[503]	[369]	[134]	

注 平均年齢欄の括弧内の数字は、平均年齢算出の対象となった回答者数である。

表4 人材流出都市・平均年齢

	全回答者				
		男性	女性		
鄭州市		25.8	26.2	24.6	
		[491]	[362]	[129]	
	市内		27.7	28.6	25.6
			[124]	[87]	[37]
市外		25.1	25.4	24.2	
		[367]	[275]	[92]	
合肥市		23.5	25.0	22.1	
		[499]	[235]	[264]	
	市内		24.9	26.7	23.0
			[140]	[74]	[66]
市外		22.9	24.3	21.9	
		[359]	[161]	[198]	
南昌市		25.3	26.0	23.6	
		[481]	[354]	[127]	
	市内		27.4	28.0	25.3
			[178]	[137]	[41]
市外		24.1	24.7	22.8	
		[303]	[217]	[86]	

注 平均年齢欄の括弧内の数字は、平均年齢算出の対象となった回答者数である。

## 3. 年齢構成〔表5・6〕

人材流入都市である北京市と上海市の人材交流会は、市外出身者に占める20歳代後半者比率が市内出身者のそれに比較して高い（多数派が20歳代前半者であることは、市内出身者と同様である）。この理由は、後述するように、一定の職歴を有する在職者と失業者の比率が高まるためであらう。

表 5 人 材 流 入 都 市 ・ 年 齡 構 成

	全 回 答 者				全 回 答 者					
	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30歳~	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30歳~		
北京市	529	300	180	46	518	4	248	162	103	
	100.0%	0.6%	56.7%	8.7%	100.0%	0.8%	47.9%	31.3%	19.9%	
	市内	91	2	63	18	市内	1	62	27	
	100.0%	2.2%	69.2%	8.8%	100.0%	0.8%	50.8%	22.1%	26.2%	
	438	1	237	172	396	3	186	135	71	
	100.0%	0.2%	54.1%	39.3%	100.0%	0.8%	47.0%	34.1%	17.9%	
	市内	281	2	142	105	329	1	133	118	76
	100.0%	0.7%	50.5%	37.4%	100.0%	0.3%	40.4%	35.9%	23.1%	
	男性	46	2	27	6	68	1	25	17	25
	100.0%	4.3%	58.7%	13.0%	100.0%	1.5%	36.8%	25.0%	36.8%	
市内	235	0	115	99	261	0	108	101	51	
100.0%	0.0%	48.9%	42.1%	100.0%	0.0%	41.4%	38.7%	19.5%		
市内	248	1	158	75	189	3	115	44	27	
100.0%	0.4%	63.7%	30.2%	100.0%	1.6%	60.8%	23.3%	14.3%		
女性	45	0	36	2	54	0	37	10	7	
100.0%	0.0%	80.0%	4.4%	100.0%	0.0%	68.5%	18.5%	13.0%		
市内	203	1	122	73	135	3	78	34	20	
100.0%	0.5%	60.1%	36.0%	100.0%	2.2%	57.8%	25.2%	14.8%		
市内	全 回 答 者									
15~19歳	20~24歳	25~29歳	30歳~	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30歳~			
534	4	248	195	87	534	4	248	195		
100.0%	0.7%	46.4%	36.5%	100.0%	0.7%	46.4%	36.5%			
市内	31	1	10	14	31	1	10	14		
100.0%	3.2%	32.3%	45.2%	100.0%	3.2%	32.3%	45.2%			
市内	503	3	238	181	503	3	238	181		
100.0%	0.6%	47.3%	36.0%	100.0%	0.6%	47.3%	36.0%			
男性	391	1	155	157	391	1	155	157		
100.0%	0.3%	39.6%	40.2%	100.0%	0.3%	39.6%	40.2%			
市内	22	0	6	11	22	0	6	11		
100.0%	0.0%	27.3%	50.0%	100.0%	0.0%	27.3%	50.0%			
市内	369	1	149	146	369	1	149	146		
100.0%	0.3%	40.4%	39.6%	100.0%	0.3%	40.4%	39.6%			
女性	143	3	93	38	143	3	93	38		
100.0%	2.1%	65.0%	26.6%	100.0%	2.1%	65.0%	26.6%			
市内	9	1	4	3	9	1	4	3		
100.0%	11.1%	44.4%	33.3%	100.0%	11.1%	44.4%	33.3%			
市内	134	2	89	35	134	2	89	35		
100.0%	1.5%	66.4%	26.1%	100.0%	1.5%	66.4%	26.1%			
市内	全 回 答 者									
15~19歳	20~24歳	25~29歳	30歳~	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30歳~			
534	4	248	195	87	534	4	248	195		
100.0%	0.7%	46.4%	36.5%	100.0%	0.7%	46.4%	36.5%			
市内	31	1	10	14	31	1	10	14		
100.0%	3.2%	32.3%	45.2%	100.0%	3.2%	32.3%	45.2%			
市内	503	3	238	181	503	3	238	181		
100.0%	0.6%	47.3%	36.0%	100.0%	0.6%	47.3%	36.0%			
男性	391	1	155	157	391	1	155	157		
100.0%	0.3%	39.6%	40.2%	100.0%	0.3%	39.6%	40.2%			
市内	22	0	6	11	22	0	6	11		
100.0%	0.0%	27.3%	50.0%	100.0%	0.0%	27.3%	50.0%			
市内	369	1	149	146	369	1	149	146		
100.0%	0.3%	40.4%	39.6%	100.0%	0.3%	40.4%	39.6%			
女性	143	3	93	38	143	3	93	38		
100.0%	2.1%	65.0%	26.6%	100.0%	2.1%	65.0%	26.6%			
市内	9	1	4	3	9	1	4	3		
100.0%	11.1%	44.4%	33.3%	100.0%	11.1%	44.4%	33.3%			
市内	134	2	89	35	134	2	89	35		
100.0%	1.5%	66.4%	26.1%	100.0%	1.5%	66.4%	26.1%			



表6 人材流出都市・年齢構成

	全回答者				全回答者			
	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30歳～	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30歳～
鄭州市	491	260	130	86	500	366	80	40
	100.0%	3.1%	53.0%	26.5%	100.0%	73.2%	16.0%	8.0%
	市内	124	49	34	140	4	89	23
	100.0%	2.4%	39.5%	27.4%	100.0%	2.9%	63.6%	16.4%
	市外	367	12	211	359	9	277	57
	100.0%	3.3%	57.5%	26.2%	100.0%	2.5%	77.2%	15.9%
	男性	362	7	177	235	4	147	50
	100.0%	1.9%	48.9%	29.6%	100.0%	1.7%	62.6%	21.3%
	市内	87	2	25	74	2	36	16
	100.0%	2.3%	28.7%	33.3%	100.0%	2.7%	48.6%	21.6%
市外	275	5	152	161	2	111	34	
100.0%	1.8%	55.3%	28.4%	100.0%	1.2%	68.9%	21.1%	
女性	129	8	83	265	9	219	30	
100.0%	6.2%	64.3%	17.8%	100.0%	3.4%	82.6%	11.3%	
市内	37	1	24	67	2	53	7	
100.0%	2.7%	64.9%	13.5%	100.0%	3.0%	79.1%	10.4%	
市外	92	7	59	198	7	166	23	
100.0%	7.6%	64.1%	19.6%	100.0%	3.5%	83.8%	11.6%	
	全回答者				全回答者			
南昌市	482	9	289	75	500	366	80	40
	100.0%	1.9%	60.0%	22.4%	100.0%	73.2%	16.0%	8.0%
	市内	178	4	75	140	4	89	23
	100.0%	2.2%	42.1%	26.4%	100.0%	2.9%	63.6%	16.4%
	市外	304	5	214	359	9	277	57
	100.0%	1.6%	70.4%	20.1%	100.0%	2.5%	77.2%	15.9%
	男性	355	3	200	235	4	147	50
	100.0%	0.8%	56.3%	25.1%	100.0%	1.7%	62.6%	21.3%
	市内	137	2	52	74	2	36	16
	100.0%	1.5%	38.0%	29.2%	100.0%	2.7%	48.6%	21.6%
市外	218	1	148	161	2	111	34	
100.0%	0.5%	67.9%	22.5%	100.0%	2.0%	79.1%	10.4%	
女性	127	6	89	265	9	219	30	
100.0%	4.7%	70.1%	15.0%	100.0%	3.4%	82.6%	11.3%	
市内	41	2	23	67	2	53	7	
100.0%	4.9%	56.1%	17.1%	100.0%	3.0%	79.1%	10.4%	
市外	86	4	66	198	7	166	23	
100.0%	4.7%	76.7%	14.0%	100.0%	3.5%	83.8%	11.6%	

対照的に、人材流出都市の人材交流会は、市外出身者に占める20歳代後半者比率が市内出身者のそれに比較して低いか、大差ない。この理由は、やはり後述するように、職歴をもたない新卒見込者と新卒者の比率が高まるためであろう。

なお、やはり人材流入都市である広州市の人材交流会は、人材流入都市の人材交流会と同様に、市外出身者に占める20歳代後半者比率が市内出身者のそれに比較して低い。広州市の人材交流会で市外出身者に占める20歳代後半者比率が市内出身者のそれに比較して低くなる理由は、広州市の人材交流会は、市内出身の20歳代前半者が北京市と上海市の人材交流会とは比較できないほど少ないがゆえに、相対的に高くなった市内出身者に占める20歳代後半者比率と比較すると、北京市と上海市の人材交流会と同水準になる市外出身者に占める20歳代後半者比率が相対的に低くなってしまうためである。

もっとも、こうした求職者の属性の構成は、広州市の人材交流会の常態であるとはいいがたい。ほぼ5ヵ月前に実施した広州市の第1回の結果は、北京市と上海市の結果とまったく同様であった。広州市の第2回の結果は、新卒者比率が減少したことによって20歳代前半者比率が減少したために生じたと考えられる。広州市の人口は、前稿の表3に示したように、北京市の人口の63.6%、上海市の人口の55.2%にすぎない。察するに、広州市の人材交流会は、人口規模の相違を反映して、北京市と上海市の人材交流会に比較して市内出身の求職者数の季節的変動幅が大きく、そのわずか1週間前に実施した上海市の第2回以上に市内出身の20歳代前半者が減少した結果、市外出身者に占める20歳代後半者比率が市内出身者のそれに比較して低くなっているのである。

#### 4. 学歴構成〔表7・8〕

人材流入都市である広州市と人材流出都市の人材交流会は、市外出身者に占める大学専科卒者比率が市内出身者のそれに比較して高く、また人材流入都市と人材流出都市の人材交流会のいずれも、市外出身者に占める大学本科卒者比率が市内出身者のそれに比較して高い。この結果は、学歴という属性が出生地である二（一）級行政区の範囲を超えて就転職機会を求めるか否かを分ける決定的な要素のひとつになっている事実を示している<sup>15</sup>。とりわけ人材流入都市である北京市と上海市の人材交流会は、市外出身者に占める大学本科卒者比率が50～60%にものぼり、他の学歴群を大きく引き離している。

反面、人材流入都市と人材流出都市の人材交流会のいずれも、市外出身者に占める高校・中専卒者比率が市内出身者のそれに比較して大幅に低い。市外出身者に占める高校・中専卒者比率は、19.9%と最も高い鄭州市の人材交流会でさえ、市内出身者のその36.3%と比較すると16.4ポイントも低くなる。

表7 人材流入都市・学歴構成

	全回答者				全回答者					
	高中	大学専科	大学本科	大学院 博士前期	高中	大学専科	大学本科	大学院 博士前期		
北京市	529	125	315	51	518	31	165	246	66	
	100.0%	5.7%	23.6%	9.6%	100.0%	6.0%	31.9%	47.5%	12.7%	
	市内	91	12	22	4	11	47	51	9	
	100.0%	13.2%	24.2%	57.1%	4.4%	9.0%	38.5%	41.8%	7.4%	
	市外	438	18	103	47	396	20	118	195	57
	100.0%	4.1%	23.5%	60.0%	10.7%	100.0%	5.1%	29.8%	49.2%	14.4%
	男性	281	21	65	168	21	329	95	162	44
	100.0%	7.5%	23.1%	59.8%	7.5%	100.0%	7.3%	28.9%	49.2%	13.4%
	市内	46	9	8	25	3	68	10	23	7
	100.0%	19.6%	17.4%	54.3%	6.5%	100.0%	14.7%	33.8%	39.7%	10.3%
	市外	235	12	57	143	18	261	14	72	37
	100.0%	5.1%	24.3%	60.9%	7.7%	100.0%	5.4%	27.6%	51.7%	14.2%
女性	248	9	60	147	30	189	7	70	84	
100.0%	3.6%	24.2%	59.3%	12.1%	100.0%	3.7%	37.0%	44.4%	11.6%	
市内	45	3	14	27	1	54	1	24	2	
100.0%	6.7%	31.1%	60.0%	2.2%	100.0%	1.9%	44.4%	44.4%	3.7%	
市外	203	6	46	120	29	135	6	46	60	
100.0%	3.0%	22.7%	59.1%	14.3%	100.0%	4.4%	34.1%	44.4%	14.8%	
広州市	534	56	274	186	12	56	274	186	12	
	100.0%	10.5%	51.3%	34.8%	2.2%	10.5%	51.3%	34.8%	2.2%	
	市内	31	5	15	8	2	31	5	15	8
	100.0%	16.1%	48.4%	25.8%	6.5%	100.0%	16.1%	48.4%	25.8%	6.5%
	市外	503	51	259	178	10	503	51	259	178
	100.0%	10.1%	51.5%	35.4%	2.0%	100.0%	10.1%	51.5%	35.4%	2.0%
	男性	391	32	199	145	10	391	32	199	145
	100.0%	8.2%	50.9%	37.1%	2.6%	100.0%	8.2%	50.9%	37.1%	2.6%
	市内	22	2	12	5	2	22	2	12	5
	100.0%	9.1%	54.5%	22.7%	9.1%	100.0%	9.1%	54.5%	22.7%	9.1%
	市外	369	30	187	140	8	369	30	187	140
	100.0%	8.1%	50.7%	37.9%	2.2%	100.0%	8.1%	50.7%	37.9%	2.2%
女性	143	24	75	41	2	143	24	75	41	
100.0%	16.8%	52.4%	28.7%	1.4%	100.0%	16.8%	52.4%	28.7%	1.4%	
市内	9	3	3	3	0	9	3	3	3	
100.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	100.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	
市外	134	21	72	38	2	134	21	72	38	
100.0%	15.7%	53.7%	28.4%	1.5%	100.0%	15.7%	53.7%	28.4%	1.5%	

表 8 人 材 流 出 都 市 · 学 歷 構 成

	全 回 答 者				全 回 答 者				
	高 校 中 專	大 学 專 科	大 学 本 科	大 学 院 博 士 前 期	高 校 中 專	大 学 專 科	大 学 本 科	大 学 院 博 士 前 期	
鄭 州 市	491	118	241	110	2	110	241	110	2
	100.0%	24.0%	49.1%	22.4%	0.4%	22.4%	49.1%	22.4%	0.4%
市 内	124	45	46	25	1	25	46	25	1
	100.0%	36.3%	37.1%	20.2%	0.8%	20.2%	37.1%	20.2%	0.8%
市 外	367	73	195	85	1	85	195	85	1
	100.0%	19.9%	53.1%	23.2%	0.3%	23.2%	53.1%	23.2%	0.3%
男 性	362	92	169	82	2	82	169	82	2
	100.0%	25.4%	46.7%	22.7%	0.6%	22.7%	46.7%	22.7%	0.6%
市 内	87	35	28	17	1	17	28	17	1
	100.0%	40.2%	32.2%	19.5%	1.1%	19.5%	32.2%	19.5%	1.1%
市 外	275	57	141	65	1	65	141	65	1
	100.0%	20.7%	51.3%	23.6%	0.4%	23.6%	51.3%	23.6%	0.4%
女 性	129	26	72	28	0	28	72	28	0
	100.0%	20.2%	55.8%	21.7%	0.0%	21.7%	55.8%	21.7%	0.0%
市 内	37	10	18	8	0	8	18	8	0
	100.0%	27.0%	48.6%	21.6%	0.0%	21.6%	48.6%	21.6%	0.0%
市 外	92	16	54	20	0	20	54	20	0
	100.0%	17.4%	58.7%	21.7%	0.0%	21.7%	58.7%	21.7%	0.0%
南 昌 市	482	87	263	121	2	121	263	121	2
	100.0%	18.0%	54.6%	25.1%	0.4%	25.1%	54.6%	25.1%	0.4%
市 内	178	51	84	39	0	39	84	39	0
	100.0%	28.7%	47.2%	21.9%	0.0%	21.9%	47.2%	21.9%	0.0%
市 外	304	36	179	82	2	82	179	82	2
	100.0%	11.8%	58.9%	27.0%	0.7%	27.0%	58.9%	27.0%	0.7%
男 性	355	61	193	93	1	93	193	93	1
	100.0%	17.2%	54.4%	26.2%	0.3%	26.2%	54.4%	26.2%	0.3%
市 内	137	40	62	32	0	32	62	32	0
	100.0%	29.2%	45.3%	23.4%	0.0%	23.4%	45.3%	23.4%	0.0%
市 外	218	21	131	61	1	61	131	61	1
	100.0%	9.6%	60.1%	28.0%	0.5%	28.0%	60.1%	28.0%	0.5%
女 性	127	26	70	28	1	28	70	28	1
	100.0%	20.5%	55.1%	22.0%	0.8%	22.0%	55.1%	22.0%	0.8%
市 内	41	11	22	7	0	7	22	7	0
	100.0%	26.8%	53.7%	17.1%	0.0%	17.1%	53.7%	17.1%	0.0%
市 外	86	15	48	21	1	21	48	21	1
	100.0%	17.4%	55.8%	24.4%	1.2%	24.4%	55.8%	24.4%	1.2%

## 5. 戸籍構成〔表9・10〕

人材流入都市である北京市と上海市および人材流出都市の人材交流会は、市外出身者に占める農業戸籍保有者比率が市内出身者のそれに比較して高い。この理由は、当然であるが、これらの5市に就転職機会を求める高学歴若年層の一定数が相対的に都市化の遅れた地区である農村部の生まれであるためである。

人材流入都市である広州市の人材交流会は、唯一、市外出身者に占める農業戸籍保有者比率が市内出身者のそれに比較して低い。この理由は、広州市の郊外を中心とする戸籍制度改革の相対

表9 人材流入都市・戸籍構成

	全回答者				全回答者		
	住民 / 非農業	農業			住民 / 非農業	農業	
北京市	529	421	93	上海市	518	447	61
	100.0%	79.6%	17.6%		100.0%	86.3%	11.8%
市内	91	80	10	市内	122	118	3
	100.0%	87.9%	11.0%		100.0%	96.7%	2.5%
市外	438	341	83	市外	396	329	58
	100.0%	77.9%	18.9%		100.0%	83.1%	14.6%
男性	281	219	55	男性	329	280	44
	100.0%	77.9%	19.6%		100.0%	85.1%	13.4%
市内	46	42	4	市内	68	66	1
	100.0%	91.3%	8.7%		100.0%	97.1%	1.5%
市外	235	177	51	市外	261	214	43
	100.0%	75.3%	21.7%		100.0%	82.0%	16.5%
女性	248	202	38	女性	189	167	17
	100.0%	81.5%	15.3%		100.0%	88.4%	9.0%
市内	45	38	6	市内	54	52	2
	100.0%	84.4%	13.3%		100.0%	96.3%	3.7%
市外	203	164	32	市外	135	115	15
	100.0%	80.8%	15.8%		100.0%	85.2%	11.1%
		全回答者				全回答者	
		住民 / 非農業	農業			住民 / 非農業	農業
広州市	534	374	150				
	100.0%	70.0%	28.1%				
市内	31	21	10				
	100.0%	67.7%	32.3%				
市外	503	353	140				
	100.0%	70.2%	27.8%				
男性	391	270	114				
	100.0%	69.1%	29.2%				
市内	22	16	6				
	100.0%	72.7%	27.3%				
市外	369	254	108				
	100.0%	68.8%	29.3%				
女性	143	104	36				
	100.0%	72.7%	25.2%				
市内	9	5	4				
	100.0%	55.6%	44.4%				
市外	134	99	32				
	100.0%	73.9%	23.9%				

表 10 人材流出都市・戸籍構成

	全回答者				全回答者						
		住 民 / 非 農 業	農 業			住 民 / 非 農 業	農 業				
鄭州市	491			合肥市	500						
	100.0%				100.0%						
	市内	124			140		22				
		100.0%			100.0%		15.7%				
	市外	367			359		96				
		100.0%			100.0%		26.7%				
	男性	362			男性	235		54			
		100.0%				100.0%		23.0%			
		市内	87			市内	74		8		
			100.0%				100.0%		10.8%		
		市外	275			市外	161		46		
			100.0%				100.0%		28.6%		
女性	129		女性	265		64					
	100.0%			100.0%		24.2%					
	市内	37		市内	67		14				
		100.0%			100.0%		20.9%				
	市外	92		市外	198		50				
		100.0%			100.0%		25.3%				
全回答者			全回答者			全回答者					
住 民 / 非 農 業			住 民 / 非 農 業			住 民 / 非 農 業					
農 業			農 業			農 業					
南昌市	482			371			102				
	100.0%			77.0%			21.2%				
	市内	178		156		20					
		100.0%		87.6%		11.2%					
	市外	304		215		82					
		100.0%		70.7%		27.0%					
	男性	355		男性	269		79				
		100.0%			75.8%		22.3%				
		市内	137		市内	116		19			
			100.0%			84.7%		13.9%			
		市外	218		市外	153		60			
			100.0%			70.2%		27.5%			
女性	127		女性	102		23					
	100.0%			80.3%		18.1%					
	市内	41		市内	40		1				
		100.0%			97.6%		2.4%				
	市外	86		市外	62		22				
		100.0%			72.1%		25.6%				

的遅れに求める以外に考えにくい。

## 6. 人材交流会情報の入手経路〔表 11・12〕

人材流入都市である北京市と上海市および人材流出都市の人材交流会は、市外出身者に占める URL 利用者比率が市内出身者のそれに比較して高い。この理由は、あえて言及するまでもないであろう。URL は、物理的距離の相違に起因する情報の非対称性を克服する手段であると同時に、コンピュータに早くから慣れ親しんでいる若年層にとっては情報の入手経路として最も手近

表 11 人材流入都市・人材交流会情報の入手経路 [複数回答]

	全回答者				全回答者			
	新聞	URL	知人	その他	新聞	URL	知人	その他
北京市	529	337	97	47	518	298	53	66
	100.0%	20.4%	63.7%	18.3%	100.0%	29.2%	57.5%	12.7%
	91	22	50	11	122	43	13	28
	100.0%	24.2%	54.9%	26.4%	100.0%	35.2%	42.6%	23.0%
	438	86	287	73	396	108	246	40
	100.0%	19.6%	65.5%	16.7%	100.0%	27.3%	62.1%	10.1%
	281	63	175	29	329	98	192	30
	100.0%	22.4%	62.3%	17.1%	100.0%	29.8%	58.4%	9.1%
	46	13	25	12	68	25	29	7
	100.0%	28.3%	54.3%	26.1%	100.0%	36.8%	42.6%	10.3%
上海市	235	50	150	36	261	73	163	29
	100.0%	21.3%	63.8%	15.3%	100.0%	28.0%	62.5%	11.1%
	248	45	162	49	189	53	106	23
	100.0%	18.1%	65.3%	19.8%	100.0%	28.0%	56.1%	12.2%
	45	9	25	12	54	18	23	6
	100.0%	20.0%	55.6%	26.7%	100.0%	33.3%	42.6%	11.1%
	203	36	137	37	135	35	83	17
	100.0%	17.7%	67.5%	18.2%	100.0%	25.9%	61.5%	12.6%
	534	127	212	115	518	196	196	196
	100.0%	23.8%	39.7%	21.5%	100.0%	36.7%	36.7%	36.7%
広州市	31	13	15	5	31	15	10	10
	100.0%	41.9%	48.4%	16.1%	100.0%	41.9%	48.4%	16.1%
	503	114	197	110	503	114	186	186
	100.0%	22.7%	39.2%	21.9%	100.0%	22.7%	37.0%	21.9%
	391	101	160	77	391	101	139	139
	100.0%	25.8%	40.9%	19.7%	100.0%	25.8%	35.5%	35.5%
	22	9	13	1	22	9	5	5
	100.0%	40.9%	59.1%	4.5%	100.0%	40.9%	22.7%	22.7%
	369	92	147	76	369	92	134	134
	100.0%	24.9%	39.8%	20.6%	100.0%	24.9%	36.3%	36.3%
女性	143	26	52	38	143	26	57	57
	100.0%	18.2%	36.4%	26.6%	100.0%	18.2%	39.9%	39.9%
	9	4	2	4	9	4	5	5
	100.0%	44.4%	22.2%	44.4%	100.0%	44.4%	55.6%	55.6%
	134	22	50	34	134	22	52	52
	100.0%	16.4%	37.3%	25.4%	100.0%	16.4%	38.8%	38.8%

表 12 人材流出都市・人材交流会情報の入手経路[複数回答]

	全回答者				全回答者					
	新聞	URL	知人	その他	新聞	URL	知人	その他		
鄭州市	491	170	79	115	178	500	189	157	124	
	100.0%	34.6%	16.1%	23.4%	36.3%	100.0%	37.8%	31.4%	24.8%	
	124	54	13	30	36	140	62	35	23	
	100.0%	43.5%	10.5%	24.2%	29.0%	100.0%	44.3%	25.0%	16.4%	
	367	116	66	85	142	359	127	122	101	
	100.0%	31.6%	18.0%	23.2%	38.7%	100.0%	35.4%	34.0%	28.1%	
	362	128	63	77	126	235	89	78	48	
	100.0%	35.4%	17.4%	21.3%	34.8%	100.0%	37.9%	33.2%	20.4%	
	87	37	10	20	24	74	33	16	7	
	100.0%	42.5%	11.5%	23.0%	27.6%	100.0%	44.6%	21.6%	9.5%	
合肥市	275	91	53	57	102	161	56	62	41	
	100.0%	33.1%	19.3%	20.7%	37.1%	100.0%	34.8%	38.5%	25.5%	
	129	42	16	38	52	265	100	79	76	
	100.0%	32.6%	12.4%	29.5%	40.3%	100.0%	37.7%	29.8%	28.7%	
	37	17	3	10	12	67	29	19	16	
	100.0%	45.9%	8.1%	27.0%	32.4%	100.0%	43.3%	28.4%	23.9%	
	92	25	13	28	40	198	71	60	60	
	100.0%	27.2%	14.1%	30.4%	43.5%	100.0%	35.9%	30.3%	28.8%	
	全回答者									
	南昌市	482	166	173	74	159	500	189	157	124
100.0%		34.4%	35.9%	15.4%	33.0%	100.0%	37.8%	31.4%	24.8%	
178		78	57	18	55	140	62	35	23	
100.0%		43.8%	32.0%	10.1%	30.9%	100.0%	44.3%	25.0%	16.4%	
304		88	116	56	104	359	127	122	101	
100.0%		28.9%	38.2%	18.4%	34.2%	100.0%	35.4%	34.0%	28.1%	
355		116	128	49	126	235	89	78	48	
100.0%		32.7%	36.1%	13.8%	35.5%	100.0%	37.9%	33.2%	20.4%	
137		59	44	13	42	74	33	16	7	
100.0%		43.1%	32.1%	9.5%	30.7%	100.0%	44.6%	21.6%	9.5%	
合肥市	218	57	84	36	84	161	56	62	41	
	100.0%	26.1%	38.5%	16.5%	38.5%	100.0%	34.8%	38.5%	25.5%	
	127	50	45	25	33	265	100	79	76	
	100.0%	39.4%	35.4%	19.7%	26.0%	100.0%	37.7%	29.8%	28.7%	
	41	19	13	5	13	67	29	19	16	
	100.0%	46.3%	31.7%	12.2%	31.7%	100.0%	43.3%	28.4%	23.9%	
	86	31	32	20	20	198	71	60	60	
	100.0%	36.0%	37.2%	23.3%	23.3%	100.0%	35.9%	30.3%	28.8%	



である<sup>16</sup>。

人材流入都市である広州市の人材交流会は、ここでも唯一、異なる結果を示し、市外出身者に占める URL 利用者比率が市内出身者のそれに比較して低い。この理由は、前稿で指摘したように、ほぼ毎日になる広州市の人材交流会の開催頻度に求められる。広州市の人材交流会は、その結果、会場で後日に開催される人材交流会の情報を事前に入手しやすい環境を求職者に与えることになる。

### 7. 人材交流会開催都市における高等教育機関の在学経験〔表 13・14〕

表 13 人材流入都市・人材交流会開催都市における高等教育機関の在学経験

	全回答者				全回答者				
	有	無			有	無			
北京市		529	146	374	上海市		518	122	383
		100.0%	27.6%	70.7%			100.0%	23.6%	73.9%
	市内	91	47	41		市内	122	65	52
		100.0%	51.6%	45.1%			100.0%	53.3%	42.6%
	市外	438	99	333		市外	396	57	331
		100.0%	22.6%	76.0%			100.0%	14.4%	83.6%
	男性	281	68	207		男性	329	69	252
		100.0%	24.2%	73.7%			100.0%	21.0%	76.6%
		市内	46	16			28	市内	68
	100.0%		34.8%	60.9%		100.0%	45.6%		50.0%
	市外	235	52	179		市外	261	38	218
100.0%		22.1%	76.2%	100.0%	14.6%		83.5%		
女性	248	78	167	女性	189	53	131		
	100.0%	31.5%	67.3%		100.0%	28.0%	69.3%		
	市内	45	31		13	市内	54	34	18
100.0%		68.9%	28.9%	100.0%	63.0%		33.3%		
市外	203	47	154	市外	135	19	113		
	100.0%	23.2%	75.9%		100.0%	14.1%	83.7%		
		全回答者							
広州市		534	97	431					
		100.0%	18.2%	80.7%					
	市内	31	16	15					
		100.0%	51.6%	48.4%					
	市外	503	81	416					
		100.0%	16.1%	82.7%					
	男性	391	77	309					
		100.0%	19.7%	79.0%					
		市内	22	12	10				
	100.0%		54.5%	45.5%					
	市外	369	65	299					
		100.0%	17.6%	36.0%					
	女性	143	20	122					
		100.0%	14.0%	85.3%					
市内		9	4	5					
	100.0%	44.4%	55.6%						
市外	134	16	117						
	100.0%	11.9%	87.3%						

人材流入都市の人材交流会は、市外出身者に占める人材交流会開催都市における高等教育機関在学経験保有者比率が市内出身者のそれに比較して低い。この結果は、縁故関係をもたない高学歴若年層を引き寄せる人材流入都市の力が強いことを示している。

対照的に、人材流出都市の人材交流会は、市外出身者に占める人材交流会開催都市における高等教育機関在学経験保有者比率が市内出身者のそれに比較して高い。この結果は、市内出身者を除く人材流出都市に就転職機会を求める高学歴者のおよそ半数が人材流出都市を高等教育機関所在地とする者で構成されることを示しており、縁故関係をもたない高学歴者を広域から引き寄せる人材流出都市の力が弱いことを示している。同時に、高等教育機関の新設や学生定員の拡大

表 14 人材流出都市・人材交流会開催都市における高等教育機関の在学経験

	全回答者				全回答者				
	有	無	比率		有	無	比率		
鄭州市	全回答者			合肥市	全回答者				
		491	217		270		500	256	240
		100.0%	44.2%		55.0%		100.0%	51.2%	48.0%
	市内	124	37		86	市内	140	58	82
		100.0%	29.8%		69.4%		100.0%	41.4%	58.6%
	市外	367	180		184	市外	359	198	158
		100.0%	49.0%		50.1%		100.0%	55.2%	44.0%
	男性	362	158		201	男性	235	97	136
		100.0%	43.6%		55.5%		100.0%	41.3%	57.9%
	市内	87	24		63	市内	74	23	50
		100.0%	27.6%		72.4%		100.0%	31.1%	67.6%
	市外	275	134		138	市外	161	74	86
100.0%		48.7%	50.2%	100.0%	46.0%		53.4%		
女性	129	59	69	女性	265	159	104		
	100.0%	45.7%	53.5%		100.0%	60.0%	39.2%		
市内	37	13	23	市内	67	35	32		
	100.0%	35.1%	62.2%		100.0%	52.2%	47.8%		
市外	92	46	46	市外	198	124	72		
	100.0%	50.0%	50.0%		100.0%	62.6%	36.4%		
南昌市	全回答者			全回答者					
		482	256	216					
		100.0%	53.1%	44.8%					
	市内	178	69	104					
		100.0%	38.8%	58.4%					
	市外	304	187	112					
		100.0%	61.5%	36.8%					
	男性	355	189	157					
		100.0%	53.2%	44.2%					
	市内	137	52	81					
		100.0%	38.0%	59.1%					
	市外	218	137	76					
100.0%		62.8%	34.9%						
女性	127	67	59						
	100.0%	52.8%	46.5%						
市内	41	17	23						
	100.0%	41.5%	56.1%						
市外	86	50	36						
	100.0%	58.1%	41.9%						

は、高等教育機関への進学率の上昇が期待できるあいだにかぎって、人材が不足する内陸都市が市外出身の高学歴者を呼び込む数少ない手段のひとつであるといえるかもしれない。

8. 在学／在職構成〔表15・16〕

人材流入都市の人材交流会は、市外出身者に占める在職者比率が市内出身者のそれに比較して高く、人材流出都市の人材交流会は、市外出身者に占める在職者比率が市内出身者のそれに比較

表15 人材流入都市・在学／在職構成

都市	在学				在職				失業					
	新卒見込者	新卒者	在職者	失業者	新卒見込者	新卒者	在職者	失業者	新卒見込者	新卒者	在職者	失業者		
北京市	529	231	62	105	518	135	61	198	114	100.0%	26.1%	11.8%	38.2%	22.0%
	91	40	13	15	122	36	17	43	24	100.0%	29.5%	13.9%	35.2%	19.7%
	438	191	49	110	396	99	44	155	90	100.0%	25.0%	11.1%	39.1%	22.7%
	281	106	32	79	329	66	31	141	86	100.0%	20.1%	9.4%	42.9%	26.1%
	46	16	6	11	68	13	7	32	15	100.0%	19.1%	10.3%	47.1%	22.1%
	235	90	26	68	261	53	24	109	71	100.0%	20.3%	9.2%	41.8%	27.2%
	248	125	30	46	189	69	30	57	28	100.0%	36.5%	15.9%	30.2%	14.8%
	45	24	7	4	54	23	10	11	9	100.0%	42.6%	18.5%	20.4%	16.7%
	203	101	23	42	135	46	20	46	19	100.0%	34.1%	14.8%	34.1%	14.1%
	100.0%	49.8%	11.3%	20.7%	100.0%	49.8%	11.3%	20.7%	17.7%					
広州市	534	35	58	189	534	35	58	189	234	100.0%	6.6%	10.9%	35.4%	43.8%
	31	0	3	8	31	0	3	8	19	100.0%	0.0%	9.7%	25.8%	61.3%
	503	35	55	181	503	35	55	181	215	100.0%	7.0%	10.9%	36.0%	42.7%
	391	19	43	148	391	19	43	148	169	100.0%	4.9%	11.0%	37.9%	43.2%
	22	0	2	8	22	0	2	8	12	100.0%	0.0%	9.1%	36.4%	54.5%
	369	19	41	140	369	19	41	140	157	100.0%	5.1%	11.1%	37.9%	42.5%
	143	16	15	41	143	16	15	41	65	100.0%	11.2%	10.5%	28.7%	45.5%
	9	0	1	0	9	0	1	0	7	100.0%	0.0%	11.1%	0.0%	77.8%
	134	16	14	41	134	16	14	41	58	100.0%	11.9%	10.4%	30.6%	43.3%
	100.0%	11.9%	10.4%	30.6%	100.0%	11.9%	10.4%	30.6%	43.3%					

注 一時帰休者は、実質に配慮して失業者に含まれた。

表 16 人材流出都市・在学/在職構成

		新卒見込者	新卒者	在職者	失業者			新卒見込者	新卒者	在職者	失業者	
鄭州市		491	69	115	113	186	合肥市	500	155	81	161	
		100.0%	14.1%	23.4%	23.0%	37.9%		100.0%	31.0%	16.2%	18.0%	32.2%
	市内	124	16	20	32	55		140	20	27	33	58
	市外	367	53	95	81	131		359	135	54	57	103
	男性	362	43	82	88	144		235	41	37	57	91
		100.0%	11.9%	22.7%	24.3%	39.8%		100.0%	17.4%	15.7%	24.3%	38.7%
	市内	87	9	11	25	41		74	3	11	23	34
	市外	275	34	71	63	103		161	38	26	34	57
	女性	129	26	33	25	42		265	114	44	33	70
		100.0%	20.2%	25.6%	19.4%	32.6%		100.0%	43.0%	16.6%	12.5%	26.4%
市内	37	7	9	7	14	67	17	16	10	24		
市外	92	19	24	18	28	198	97	28	23	46		
	100.0%	20.7%	26.1%	19.6%	30.4%	100.0%	49.0%	14.1%	11.6%	23.2%		
南昌市		482	47	121	107	198	南昌市	482	47	121	107	198
		100.0%	9.8%	25.1%	22.2%	41.1%		100.0%	9.8%	25.1%	22.2%	41.1%
	市内	178	5	23	46	101		178	5	23	46	101
	市外	304	42	98	61	97		304	42	98	61	97
	男性	355	31	85	93	138		355	31	85	93	138
		100.0%	8.7%	23.9%	26.2%	38.9%		100.0%	8.7%	23.9%	26.2%	38.9%
	市内	137	3	15	40	76		137	3	15	40	76
	市外	218	28	70	53	62		218	28	70	53	62
	女性	127	16	36	14	60		127	16	36	14	60
		100.0%	12.6%	28.3%	11.0%	47.2%		100.0%	12.6%	28.3%	11.0%	47.2%
市内	41	2	8	6	25	41	2	8	6	25		
市外	86	14	28	8	35	86	14	28	8	35		
	100.0%	16.3%	32.6%	9.3%	40.7%	100.0%	16.3%	32.6%	9.3%	40.7%		

注 一時帰休者は、実質に配慮して失業者に含まれた。

して低い。

この理由は、年齢構成の分析にあたってすでに指摘したように、一定の職歴を有する在職者がより好条件の求人数の多い人材流入都市に転職機会を求めようになるためである。とはいえ、出生地でない人材流入都市における転職を希望する高学歴者は、年齢構成の分析結果に示されたように、20歳代前半者を主流とし、30歳代前半者以降は激減する。この理由は、30歳代前半者以降を対象とする求人数が大幅に減少することに加え<sup>17</sup>、配偶者と子どもをとまなう地域間移

動の機会費用が高くなることを物語っている。

9. 人材交流会の利用回数〔表 17・18〕

人材流入都市と人材流出都市である南昌市の人材交流会は、市外出身者に占める当該人材市場

表 17 人材流入都市・人材交流会の利用回数

	全回答者					性別	出身地	全回答者					
	1回	2～5回	6～9回	10回～	10回～			1回	2～5回	6～9回	10回～		
北京市	529	322	189	13	2	上海市	市内	518	296	164	28	23	
	100.0%	60.9%	35.7%	2.5%	0.4%			100.0%	57.1%	31.7%	5.4%	4.4%	
	91	45	39	3	2			市内	122	67	38	9	5
	100.0%	49.5%	42.9%	3.3%	2.2%				100.0%	54.9%	31.1%	7.4%	4.1%
	438	277	150	10	0			市外	396	229	126	19	18
	100.0%	63.2%	34.2%	2.3%	0.0%				100.0%	57.8%	31.8%	4.8%	4.5%
	281	173	99	5	1			男性	329	163	121	21	19
	100.0%	61.6%	35.2%	1.8%	0.4%				100.0%	49.5%	36.8%	6.4%	5.8%
	46	21	21	1	1			市内	68	31	28	4	4
	100.0%	45.7%	45.7%	2.2%	2.2%				100.0%	45.6%	41.2%	5.9%	5.9%
235	152	78	4	0	市外	261	132	93	17	15			
100.0%	64.7%	33.2%	1.7%	0.0%		100.0%	50.6%	35.6%	6.5%	5.7%			
248	149	90	8	1	女性	189	133	43	7	4			
100.0%	60.1%	36.3%	3.2%	0.4%		100.0%	70.4%	22.8%	3.7%	2.1%			
45	24	18	2	1	市内	54	36	10	5	1			
100.0%	53.3%	40.0%	4.4%	2.2%		100.0%	66.7%	18.5%	9.3%	1.9%			
203	125	72	6	0	市外	135	97	33	2	3			
100.0%	61.6%	35.5%	3.0%	0.0%		100.0%	71.9%	24.4%	1.5%	2.2%			
広州市	全回答者						全回答者						
	1回	2～5回	6～9回	10回～	10回～		1回	2～5回	6～9回	10回～			
	534	110	224	83	110		市内	534	110	224	83	110	
	100.0%	20.6%	41.9%	15.5%	20.6%			100.0%	20.6%	41.9%	15.5%	20.6%	
	31	3	17	5	6			市内	31	3	17	5	6
	100.0%	9.7%	54.8%	16.1%	19.4%				100.0%	9.7%	54.8%	16.1%	19.4%
	503	107	207	78	104			市外	503	107	207	78	104
	100.0%	21.3%	41.2%	15.5%	20.7%				100.0%	21.3%	41.2%	15.5%	20.7%
	391	69	160	63	93			男性	391	69	160	63	93
	100.0%	17.6%	40.9%	16.1%	23.8%				100.0%	17.6%	40.9%	16.1%	23.8%
22	2	10	5	5	市内	22		2	10	5	5		
100.0%	9.1%	45.5%	22.7%	22.7%		100.0%		9.1%	45.5%	22.7%	22.7%		
369	67	150	58	88	市外	369	67	150	58	88			
100.0%	18.2%	40.7%	15.7%	23.8%		100.0%	18.2%	40.7%	15.7%	23.8%			
143	41	64	20	17	女性	143	41	64	20	17			
100.0%	28.7%	44.8%	14.0%	11.9%		100.0%	28.7%	44.8%	14.0%	11.9%			
9	1	7	0	1	市内	9	1	7	0	1			
100.0%	11.1%	77.8%	0.0%	11.1%		100.0%	11.1%	77.8%	0.0%	11.1%			
134	40	57	20	16	市外	134	40	57	20	16			
100.0%	29.9%	42.5%	14.9%	11.9%		100.0%	29.9%	42.5%	14.9%	11.9%			

表 18 人材流出都市・人材交流会の利用回数

	全回答者						全回答者														
	1回	2～5回	6～9回	10回～	100.0%		1回	2～5回	6～9回	10回～	100.0%										
鄭州市	491	169	254	47	20	100.0%	34.4%	51.7%	9.6%	4.1%	合肥市	500	109	265	63	58	100.0%	21.8%	53.0%	12.6%	11.6%
市内	124	45	68	8	3	100.0%	36.3%	54.8%	6.5%	2.4%	市内	140	33	68	20	18	100.0%	23.6%	48.6%	14.3%	12.9%
市外	367	124	186	39	17	100.0%	33.8%	50.7%	10.6%	4.6%	市外	359	76	197	43	40	100.0%	21.2%	54.9%	12.0%	11.1%
男性	362	133	182	35	11	100.0%	36.7%	50.3%	9.7%	3.0%	男性	235	48	112	35	37	100.0%	20.4%	47.7%	14.9%	15.7%
市内	87	39	40	8	0	100.0%	44.8%	46.0%	9.2%	0.0%	市内	74	18	31	12	11	100.0%	24.3%	41.9%	16.2%	14.9%
市外	275	94	142	27	11	100.0%	34.2%	51.6%	9.8%	4.0%	市外	161	30	81	23	26	100.0%	18.6%	50.3%	14.3%	16.1%
女性	129	36	72	12	9	100.0%	27.9%	55.8%	9.3%	7.0%	女性	265	61	153	28	21	100.0%	23.0%	57.7%	10.6%	7.9%
市内	37	6	28	0	3	100.0%	16.2%	75.7%	0.0%	8.1%	市内	67	15	37	8	7	100.0%	22.4%	55.2%	11.9%	10.4%
市外	92	30	44	12	6	100.0%	32.6%	47.8%	13.0%	6.5%	市外	198	46	116	20	14	100.0%	23.2%	58.6%	10.1%	7.1%
鄭州市	482	108	226	69	77	100.0%	22.4%	46.9%	14.3%	16.0%	南昌市	482	108	226	69	77	100.0%	22.4%	46.9%	14.3%	16.0%
市内	178	36	84	20	38	100.0%	20.2%	47.2%	11.2%	21.3%	市内	178	36	84	20	38	100.0%	20.2%	47.2%	11.2%	21.3%
市外	304	72	142	49	39	100.0%	23.7%	46.7%	16.1%	12.8%	市外	304	72	142	49	39	100.0%	23.7%	46.7%	16.1%	12.8%
男性	355	72	166	48	68	100.0%	20.3%	46.8%	13.5%	19.2%	男性	355	72	166	48	68	100.0%	20.3%	46.8%	13.5%	19.2%
市内	137	21	67	16	33	100.0%	15.3%	48.9%	11.7%	24.1%	市内	137	21	67	16	33	100.0%	15.3%	48.9%	11.7%	24.1%
市外	218	51	99	32	35	100.0%	23.4%	45.4%	14.7%	16.1%	市外	218	51	99	32	35	100.0%	23.4%	45.4%	14.7%	16.1%
女性	127	36	60	21	9	100.0%	28.3%	47.2%	16.5%	7.1%	女性	127	36	60	21	9	100.0%	28.3%	47.2%	16.5%	7.1%
市内	41	15	17	4	5	100.0%	36.6%	41.5%	9.8%	12.2%	市内	41	15	17	4	5	100.0%	36.6%	41.5%	9.8%	12.2%
市外	86	21	43	17	4	100.0%	24.4%	50.0%	19.8%	4.7%	市外	86	21	43	17	4	100.0%	24.4%	50.0%	19.8%	4.7%

が主（共）催する人材交流会の初回利用者比率が市内出身者のそれに比較して高く、人材流出都市である鄭州市と合肥市の人材交流会は、市外出身者に占める当該人材市場が主（共）催する人材交流会の初回利用者比率が市内出身者のそれに比較して低い。

この理由は、人材交流会開催都市における高等教育機関の在学経験の分析にあたってすでに指摘したように、求人数が多い人材流入都市は、新規に流入する求職者を絶えず引き寄せる力が強

い一方、求人数が少ない人材流入都市は、新規に流入する求職者を絶えず引き寄せる力が弱いことに求められる。また、人材流出都市を高等教育機関所在地とする市外出身者の多くは、人材流出都市で希望する条件に見合った就転職機会をうる可能性がきわめて低いことを就転職活動に着手する前から熟知しており、人材流出都市における就転職活動を当初から断念していると考えられる。こうしたかれらの状況判断も、人材流出都市の人材交流会における市外出身者に占める当該人材市場が主（共）催する人材交流会の初回利用者比率を低める方向に作用している。

なお、人材流出都市である南昌市の人材交流会が人材流入都市と同様の結果になる理由は、目下のところ、前稿の表5に示したように、近年の直接投資受入額の増大が今後の経済開発の進展にともなう就転職機会の増加を江西省出身者に予想させるためであると考えるか、後述する志望職務の分析結果から窺えるように、江西省出身者の流出先として優先順位が最も高いと考えられる広州市で就転職機会をうる可能性も決して高くないと江西省出身者の多くが認識しているためとしか考えられない。

#### 10. 志望職務〔表19・20〕

人材流入都市である北京市と上海市および人材流出都市の人材交流会は、市外出身者に占める営業職志望者比率が市内出身者のそれに比較して高く、人材流入都市である広州市の人材交流会は、市外出身者に占める営業職志望者比率が市内出身者のそれに比較して低い。

営業職を志望する高学歴若年層は、前稿で示したように、男性が多い。その結果、市外出身者に占める男性比率が高い人材交流会は、市外出身者に占める営業職志望者比率が高くなり、市外出身者に占める男性比率が低い人材交流会は、市外出身者に占める営業職志望者比率が低くなる。人材流入都市である北京市と上海市および人材流出都市である鄭州市の結果は、まさしくこの傾向を表している。

人材流入都市である広州市で異なる傾向が示される理由は、広州市の人材交流会では実に市内出身者の60%以上が営業職を求めて就転職活動を続けているためである。広州市の人材交流会に集まった市外出身者に占める営業職志望者比率は、北京市と上海市の人材交流会に集まった市外出身者のそれに比較してむしろ高いが、市内出身者のそれがより高いために相対的に低くならざるをえない。広州市は、同様に人材流入都市である北京市と上海市に比較して加工・組立業務を専門とする低付加価値型製造業への雇用依存度が高いと推察される<sup>18</sup>。その結果、広州市の人材交流会は、営業職志望の文系学科卒者（とりわけ男性）にたいして就転職機会を十分に提供できず、文系学科卒者の就転職活動を長期化させているようである（労働需給の不一致）。広州市は、三大経済圏の中心都市として北京市と上海市と等価に扱われることが多いが、高学歴若年層の就転職機会の獲得という視点からみた場合、人口規模の相違だけでは説明できない異なる状況を呈しているといえよう。ちなみに、広州市の第1回の結果は、市外出身者に占める営業職志望者比率が48.1%、市内出身者のそれが47.8%であり、わずかな差とはいえ、市外出身者に占める営

表 19 人 材 流 入 都 市 ・ 志 望 職 務 [ 複 數 回 答 ]

	北京市					上海市					北京市					上海市							
	營業職	總務職	文 系 技 術 職	理 系 技 術 職	一般職	營業職	總務職	文 系 技 術 職	理 系 技 術 職	一般職	營業職	總務職	文 系 技 術 職	理 系 技 術 職	一般職	營業職	總務職	文 系 技 術 職	理 系 技 術 職	一般職			
北京市	529	168	116	176	15	518	194	91	58	8	100.0%	37.5%	17.6%	11.2%	169	518	194	91	58	8			
	100.0%	31.8%	21.9%	33.3%	2.5%	100.0%	37.5%	17.6%	11.2%	1.5%	100.0%	37.5%	17.6%	11.2%	32.6%	100.0%	37.5%	17.6%	11.2%	1.5%			
	91	26	30	28	6	122	39	43	26	3	100.0%	32.0%	35.2%	21.3%	27	122	39	43	26	3			
	100.0%	28.6%	33.0%	30.8%	6.0%	100.0%	32.0%	35.2%	21.3%	2.5%	100.0%	32.0%	35.2%	21.3%	22.1%	100.0%	32.0%	35.2%	21.3%	2.5%			
	438	142	86	51	9	396	155	48	32	5	100.0%	32.4%	19.6%	11.6%	142	396	155	48	32	5			
	100.0%	32.4%	19.6%	33.8%	2.1%	100.0%	32.4%	19.6%	33.8%	1.3%	100.0%	32.4%	19.6%	11.6%	142	396	155	48	32	5			
	281	98	30	27	10	329	130	26	24	6	100.0%	34.9%	10.7%	9.6%	136	329	130	26	24	6			
	100.0%	34.9%	10.7%	43.8%	3.0%	100.0%	34.9%	10.7%	43.8%	1.8%	100.0%	34.9%	10.7%	9.6%	136	329	130	26	24	6			
	46	13	6	3	4	68	23	12	11	22	100.0%	28.3%	13.0%	6.5%	47.8%	68	23	12	11	22			
	100.0%	28.3%	13.0%	47.8%	8.7%	100.0%	28.3%	13.0%	47.8%	4.4%	100.0%	28.3%	13.0%	47.8%	47.8%	100.0%	28.3%	13.0%	47.8%	4.4%			
235	85	24	24	6	261	107	14	13	114	100.0%	36.2%	10.2%	10.2%	43.0%	261	107	14	13	114				
100.0%	36.2%	10.2%	43.0%	2.6%	100.0%	36.2%	10.2%	43.0%	1.1%	100.0%	36.2%	10.2%	10.2%	43.0%	261	107	14	13	114				
248	70	86	32	5	189	64	65	34	33	100.0%	28.2%	34.7%	12.9%	21.4%	189	64	65	34	33				
100.0%	28.2%	34.7%	12.9%	2.0%	100.0%	28.2%	34.7%	12.9%	2.0%	100.0%	28.2%	34.7%	12.9%	18.0%	189	64	65	34	33				
45	13	24	5	2	54	16	31	15	5	100.0%	28.9%	53.3%	11.1%	13.3%	54	16	31	15	5				
100.0%	28.9%	53.3%	11.1%	4.4%	100.0%	28.9%	53.3%	11.1%	4.4%	100.0%	28.9%	53.3%	11.1%	17.5%	100.0%	28.9%	53.3%	11.1%	1.1%				
203	57	62	27	3	135	48	34	19	28	100.0%	28.1%	30.5%	13.3%	23.2%	135	48	34	19	28				
100.0%	28.1%	30.5%	13.3%	1.5%	100.0%	28.1%	30.5%	13.3%	1.5%	100.0%	28.1%	30.5%	13.3%	23.2%	135	48	34	19	28				
北京市	534	256	99	82	22	534	256	99	82	22	534	256	99	82	22	534	256	99	82	22			
	100.0%	47.9%	18.5%	15.4%	4.1%	100.0%	47.9%	18.5%	15.4%	4.1%	100.0%	47.9%	18.5%	15.4%	4.1%	100.0%	47.9%	18.5%	15.4%	4.1%			
	31	19	7	6	2	31	19	7	6	2	100.0%	61.3%	22.6%	19.4%	29.0%	31	19	7	6	2			
	100.0%	61.3%	22.6%	19.4%	6.5%	100.0%	61.3%	22.6%	19.4%	6.5%	100.0%	61.3%	22.6%	19.4%	29.0%	31	19	7	6	2			
	503	237	92	76	20	503	237	92	76	20	503	237	92	76	20	503	237	92	76	20			
	100.0%	47.1%	18.3%	15.1%	4.0%	100.0%	47.1%	18.3%	15.1%	4.0%	100.0%	47.1%	18.3%	15.1%	4.0%	100.0%	47.1%	18.3%	15.1%	4.0%			
	391	196	47	48	11	391	196	47	48	11	391	196	47	48	11	391	196	47	48	11			
	100.0%	50.1%	12.0%	12.3%	2.8%	100.0%	50.1%	12.0%	12.3%	2.8%	100.0%	50.1%	12.0%	12.3%	2.8%	100.0%	50.1%	12.0%	12.3%	2.8%			
	22	14	2	1	1	22	14	2	1	1	22	14	2	1	1	22	14	2	1	1			
	100.0%	63.6%	9.1%	4.5%	4.5%	100.0%	63.6%	9.1%	4.5%	4.5%	100.0%	63.6%	9.1%	4.5%	4.5%	100.0%	63.6%	9.1%	4.5%	4.5%			
369	182	45	47	10	369	182	45	47	10	369	182	45	47	10	369	182	45	47	10				
100.0%	49.3%	12.2%	12.7%	2.7%	100.0%	49.3%	12.2%	12.7%	2.7%	100.0%	49.3%	12.2%	12.7%	2.7%	100.0%	49.3%	12.2%	12.7%	2.7%				
143	60	52	34	11	143	60	52	34	11	143	60	52	34	11	143	60	52	34	11				
100.0%	42.0%	36.4%	23.8%	9.1%	7.7%	100.0%	42.0%	36.4%	23.8%	9.1%	7.7%	100.0%	42.0%	36.4%	23.8%	9.1%	7.7%	100.0%	42.0%	36.4%	23.8%	9.1%	7.7%
9	5	5	5	1	9	5	5	5	1	9	5	5	5	1	9	5	5	5	1				
100.0%	55.6%	55.6%	55.6%	0.0%	11.1%	100.0%	55.6%	55.6%	0.0%	11.1%	100.0%	55.6%	55.6%	0.0%	11.1%	100.0%	55.6%	55.6%	0.0%	11.1%			
134	55	47	29	13	134	55	47	29	13	134	55	47	29	13	134	55	47	29	13				
100.0%	41.0%	35.1%	21.6%	9.7%	7.5%	100.0%	41.0%	35.1%	21.6%	9.7%	7.5%	100.0%	41.0%	35.1%	21.6%	9.7%	7.5%	100.0%	41.0%	35.1%	21.6%	9.7%	7.5%



表 20 人材流出都市・志望職務【複数回答】

流出都市	志望職務					性別	所在地	志望職務							
	営業職	総務職	文系技術職	理系技術職	一般職			営業職	総務職	文系技術職	理系技術職	一般職			
鄭州市	491	215	62	72	154	46	合肥市	500	225	161	119	76	78		
	100.0%	43.8%	12.6%	14.7%	31.4%	9.4%		100.0%	45.0%	32.2%	23.8%	15.2%	15.6%		
	124	43	16	15	30	20		140	49	37	19	19	27		
	100.0%	34.7%	12.9%	12.1%	24.2%	16.1%		100.0%	35.0%	26.4%	13.6%	13.6%	19.3%		
	367	172	46	57	124	26		359	176	124	100	57	51		
	100.0%	46.9%	12.5%	15.5%	33.8%	7.1%		100.0%	49.0%	34.5%	27.9%	15.9%	14.2%		
	362	174	24	33	134	37		235	120	32	22	54	34		
	100.0%	48.1%	6.6%	9.1%	37.0%	10.2%		100.0%	51.1%	13.6%	9.4%	23.0%	14.5%		
	87	33	4	7	27	17		74	25	10	4	16	19		
	100.0%	37.9%	4.6%	8.0%	31.0%	19.5%		100.0%	33.8%	13.5%	5.4%	21.6%	25.7%		
南州市	275	141	20	26	107	20	女性	161	95	22	18	38	15		
	100.0%	51.3%	7.3%	9.5%	38.9%	7.3%		100.0%	59.0%	13.7%	11.2%	23.6%	9.3%		
	129	41	38	39	20	9		265	105	129	97	22	44		
	100.0%	31.8%	29.5%	30.2%	15.5%	7.0%		100.0%	39.6%	48.7%	36.6%	8.3%	16.6%		
	37	10	12	8	3	3		67	24	27	15	3	8		
	100.0%	27.0%	32.4%	21.6%	8.1%	8.1%		100.0%	35.8%	40.3%	22.4%	4.5%	11.9%		
	92	31	26	31	17	6		198	81	102	82	19	36		
	100.0%	33.7%	28.3%	33.7%	18.5%	6.5%		100.0%	40.9%	51.5%	41.4%	9.6%	18.2%		
	南州市	482	246	103	83	135		44	男性	482	246	103	83	135	44
		100.0%	51.0%	21.4%	17.2%	28.0%		9.1%		100.0%	51.0%	21.4%	17.2%	28.0%	9.1%
178		87	29	26	49	22	178	87		29	26	49	22		
100.0%		48.9%	16.3%	14.6%	27.5%	12.4%	100.0%	48.9%		16.3%	14.6%	27.5%	12.4%		
304		159	74	57	86	22	304	159		74	57	86	22		
100.0%		52.3%	24.3%	18.8%	28.3%	7.2%	100.0%	52.3%		24.3%	18.8%	28.3%	7.2%		
355		197	47	46	125	25	355	197		47	46	125	25		
100.0%		55.5%	13.2%	13.0%	35.2%	7.0%	100.0%	55.5%		13.2%	13.0%	35.2%	7.0%		
137		69	12	13	47	15	137	69		12	13	47	15		
100.0%		50.4%	8.8%	9.5%	34.3%	10.9%	100.0%	50.4%		8.8%	9.5%	34.3%	10.9%		
南州市	218	128	35	33	78	10	女性	218	128	35	33	78	10		
	100.0%	58.7%	16.1%	15.1%	35.8%	4.6%		100.0%	58.7%	16.1%	15.1%	35.8%	4.6%		
	127	49	56	37	10	19		127	49	56	37	10	19		
	100.0%	38.6%	44.1%	29.1%	7.9%	15.0%		100.0%	38.6%	44.1%	29.1%	7.9%	15.0%		
	41	18	17	13	2	7		41	18	17	13	2	7		
	100.0%	43.9%	41.5%	31.7%	4.9%	17.1%		100.0%	43.9%	41.5%	31.7%	4.9%	17.1%		
	86	31	39	24	8	12		86	31	39	24	8	12		
	100.0%	36.0%	45.3%	27.9%	9.3%	14.0%		100.0%	36.0%	45.3%	27.9%	9.3%	14.0%		

業職志望者比率が市内出身者のそれに比較して高く、北京市と上海市の人材交流会と同様に結果になった。もっとも、筆者は、広州市の第1回の市内出身者に占める営業職志望者比率も、北京市と上海市の人材交流会の市内出身者のそれに比較して高いことを強調しておきたい。

残る人材流出都市である合肥市と南昌市で異なる傾向が示される理由は、残念ながら特定できない。

また、人材流出都市である合肥市と南昌市の人材交流会は、市外出身者に占める総務職志望者比率が市内出身者のそれに比較して高く、人材流入都市および人材流出都市である鄭州市の人材交流会は、市外出身者に占める総務職志望者比率が市内出身者のそれに比較して低い。

総務職を志望する高学歴若年層は、やはり前稿で示したように、女性が多い。その結果、市外出身者に占める女性比率が高い人材交流会は、総務職志望者比率が高くなり、市外出身者に占める女性比率が低い人材交流会は、総務職志望者比率が低くなる。人材流出都市と人材流入都市の結果は、まさしくこの傾向を示している。

さらに、人材流入都市である北京市と上海市および人材流出都市の人材交流会は、市外出身者に占める理系技術職志望者比率が市内出身者のそれに比較して高く、人材流入都市である広州市の人材交流会は、市外出身者に占める理系技術職志望者比率が市内出身者のそれに比較して低い。

理系技術職を志望する高学歴若年層は、同様に前稿で示したように、男性が多い。その結果、市外出身者に占める男性比率が高い人材交流会は、市外出身者に占める理系技術職志望者比率が高くなり、市外出身者に占める男性比率が低い人材交流会は、市外出身者に占める理系技術職志望者比率が低くなる。人材流入都市である北京市と上海市および人材流出都市である鄭州市の結果は、まさしくこの傾向を表している。人材流入都市である広州市の結果は、先述した広州市の産業構造に起因して、広東省および広東省近隣出身の理系技術職を志望する高学歴若年層が広州市ではなく上海市などに就転職機会を求めているためであると考えられる。

残る人材流出都市である合肥市と南昌市で異なる傾向が示される理由は、残念ながら特定できない。

#### 11. 希望する待遇(1) 月給額①学歴・性別〔表21・22〕

人材流入都市の人材交流会は、概して、市外出身者に占める大学専科卒者と大学本科卒者が希望する月給額が市内出身者のそれに比較してそれぞれ高く、人材流入都市の人材交流会は、概して、市外出身者に占める大学専科卒者と大学本科卒者が希望する月給額が市内出身者のそれに比較してそれぞれ低いか、大差ない。この傾向は、とりわけ男性に強く表れている。

希望する月給額は、大学専科卒者と大学本科卒者に限定すると、人材流入都市では市外出身者の男性、人材流出都市では市内出身者の男性が最も高い。一見すると、人材流入都市に就転職機会を求める市外出身者の男性は、高月給志向が強く、人材流出都市に就転職機会を求める市外出

表 21 人材流入都市・希望する待遇(1)月給額①学歴・性別

	平均額		平均額		平均額		平均額	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
北京市	2,758 [520]	2,958 [274]	2,534 [246]	2,534 [187]	3,531 [500]	2,960 [187]	2,722 [523]	2,861 [141]
市内	2,509 [91]	2,785 [46]	2,227 [45]	2,783 [53]	3,098 [119]	2,783 [53]	2,684 [31]	2,909 [22]
市外	2,810 [429]	2,993 [228]	2,603 [201]	3,030 [134]	3,386 [381]	3,030 [134]	2,724 [492]	2,858 [360]
中学	1,600 [3]	1,800 [2]	1,200 [1]	2,533 [3]	2,280 [5]	2,533 [3]	2,150 [4]	2,150 [0]
市内	-	-	-	3,000	3,000	-	1,800	1,800
市外	1,600 [3]	1,800 [2]	1,200 [1]	1,600	5,400 [3]	1,600	2,267 [3]	2,267 [0]
高校・中専	2,117 [30]	2,338 [21]	1,600 [9]	2,686	2,421 [29]	2,686	2,265	2,425
市内	1,642 [12]	1,744 [9]	1,333 [3]	1,600	1,920 [10]	1,600	2,040	2,500
市外	2,433 [18]	2,783 [12]	1,733 [6]	2,867	2,684 [19]	2,867	2,288	2,420
大学専科	2,402 [125]	2,548 [65]	2,243 [60]	2,753	3,052 [162]	2,753	2,607	2,757
市内	2,109 [22]	2,475 [8]	1,900 [14]	2,629	2,937 [46]	2,629	2,320	2,450
市外	2,464 [103]	2,558 [57]	2,348 [46]	2,817	3,098 [116]	2,817	2,624	2,777
大学本科	2,767 [308]	3,006 [162]	2,501 [146]	2,906	3,279 [238]	2,906	2,944	3,012
市内	2,692 [52]	2,936 [25]	2,467 [27]	2,908	3,106 [51]	2,908	2,800	2,760
市外	2,782 [256]	3,019 [137]	2,509 [119]	2,905	3,327 [187]	2,905	2,951	3,021
大学院博士 前後期課程	3,948 [54]	4,383 [24]	3,600 [30]	4,018	4,645 [64]	4,018	4,545	4,778
市内	4,440 [5]	4,800 [4]	3,000 [1]	3,500	5,000 [10]	3,500	7,000	7,000
市外	3,898 [49]	4,300 [29]	3,621 [2]	4,070	4,580 [54]	4,070	4,000	4,143
				20		20		7
広州市								
市内								
市外								
中学								
市内								
市外								
高校・中専								
市内								
市外								
大学専科								
市内								
市外								
大学本科								
市内								
市外								
大学院博士 前後期課程								
市内								
市外								

注 1. 平均額の括弧内の数字は、平均額算出の対象となった回答者数である。

2. 上海市の大学本科卒業生の全体平均額と男性平均額および大学院博士前後期課程修了者の全体平均額と男性平均額は、100,000円を希望する回答者をそれぞれ1人ずつ除いた数値である。

身者の男性は、高月給志向が弱い、という傾向がみとれる。別言すれば、人材流入都市に就職機会を求める高学歴の市外出身者の男性は、人材流出都市に就職機会を求める高学歴の市外出身者の男性に比較して自己評価が高い、といいうる。

表 22 人 材 流 出 都 市 ・ 希 望 す る 待 遇 ( 1 ) 月 給 額 ① 学 歴 ・ 性 別

単 位 元

	平均額		平均額		平均額		平均額	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
鄭州市	1,533 [488]	1,618 [359]	1,348 [497]	1,547 [232]	1,611 [481]	1,696 [354]	1,375 [127]	1,671 [481]
市内	1,538 [123]	1,698 [86]	1,442 [139]	1,597 [72]	1,642 [178]	1,715 [137]	1,395 [41]	1,671 [178]
市外	1,531 [365]	1,593 [273]	1,311 [358]	1,524 [160]	1,593 [303]	1,683 [217]	1,365 [86]	1,671 [303]
中学	1,163 [16]	1,160 [15]	1,457 [14]	1,492 [13]	1,160 [5]	1,300 [4]	600 [1]	1,300 [5]
市内	1,200 [5]	1,200 [4]	1,400 [11]	1,440 [10]	1,000 [3]	1,200 [2]	600 [1]	1,000 [3]
市外	1,145 [11]	1,145 [11]	1,667 [3]	1,667 [3]	1,400 [2]	1,400 [2]	- [0]	1,400 [2]
高校・中専	1,463 [117]	1,523 [91]	1,298 [80]	1,461 [49]	1,495 [86]	1,620 [60]	1,208 [26]	1,495 [86]
市内	1,409 [45]	1,491 [35]	1,463 [35]	1,536 [22]	1,455 [51]	1,545 [40]	1,127 [11]	1,455 [51]
市外	1,497 [72]	1,543 [56]	1,298 [45]	1,400 [27]	1,554 [35]	1,770 [20]	1,267 [15]	1,554 [35]
大学専科	1,496 [239]	1,619 [167]	1,279 [348]	1,519 [126]	1,525 [263]	1,600 [193]	1,320 [70]	1,525 [263]
市内	1,573 [45]	1,881 [27]	1,402 [82]	1,647 [30]	1,648 [84]	1,726 [62]	1,427 [22]	1,648 [84]
市外	1,478 [194]	1,569 [140]	1,241 [266]	1,479 [96]	1,468 [179]	1,540 [131]	1,271 [48]	1,468 [179]
大学本科	1,733 [110]	1,785 [82]	1,696 [54]	1,707 [43]	1,831 [121]	1,878 [93]	1,671 [28]	1,831 [121]
市内	1,728 [25]	1,906 [17]	1,709 [11]	1,740 [10]	1,892 [39]	1,906 [32]	1,829 [7]	1,892 [39]
市外	1,734 [85]	1,754 [65]	1,693 [43]	1,697 [33]	1,801 [82]	1,864 [61]	1,619 [21]	1,801 [82]
大学院博士 前後期課程	2,700 [2]	2,700 [2]	3,000 [1]	3,000 [1]	3,500 [4]	3,867 [3]	2,400 [1]	3,500 [4]
市内	3,000 [1]	3,000 [1]	- [0]	- [0]	- [0]	- [0]	- [0]	- [0]
市外	2,400 [1]	2,400 [1]	3,000 [1]	3,000 [1]	3,500 [4]	3,867 [3]	2,400 [1]	3,500 [4]
合肥市	1,533 [488]	1,618 [359]	1,348 [497]	1,547 [232]	1,611 [481]	1,696 [354]	1,375 [127]	1,671 [481]
市内	1,538 [123]	1,698 [86]	1,442 [139]	1,597 [72]	1,642 [178]	1,715 [137]	1,395 [41]	1,671 [178]
市外	1,531 [365]	1,593 [273]	1,311 [358]	1,524 [160]	1,593 [303]	1,683 [217]	1,365 [86]	1,671 [303]
中学	1,163 [16]	1,160 [15]	1,457 [14]	1,492 [13]	1,160 [5]	1,300 [4]	600 [1]	1,300 [5]
市内	1,200 [5]	1,200 [4]	1,400 [11]	1,440 [10]	1,000 [3]	1,200 [2]	600 [1]	1,000 [3]
市外	1,145 [11]	1,145 [11]	1,667 [3]	1,667 [3]	1,400 [2]	1,400 [2]	- [0]	1,400 [2]
高校・中専	1,463 [117]	1,523 [91]	1,298 [80]	1,461 [49]	1,495 [86]	1,620 [60]	1,208 [26]	1,495 [86]
市内	1,409 [45]	1,491 [35]	1,463 [35]	1,536 [22]	1,455 [51]	1,545 [40]	1,127 [11]	1,455 [51]
市外	1,497 [72]	1,543 [56]	1,298 [45]	1,400 [27]	1,554 [35]	1,770 [20]	1,267 [15]	1,554 [35]
大学専科	1,496 [239]	1,619 [167]	1,279 [348]	1,519 [126]	1,525 [263]	1,600 [193]	1,320 [70]	1,525 [263]
市内	1,573 [45]	1,881 [27]	1,402 [82]	1,647 [30]	1,648 [84]	1,726 [62]	1,427 [22]	1,648 [84]
市外	1,478 [194]	1,569 [140]	1,241 [266]	1,479 [96]	1,468 [179]	1,540 [131]	1,271 [48]	1,468 [179]
大学本科	1,733 [110]	1,785 [82]	1,696 [54]	1,707 [43]	1,831 [121]	1,878 [93]	1,671 [28]	1,831 [121]
市内	1,728 [25]	1,906 [17]	1,709 [11]	1,740 [10]	1,892 [39]	1,906 [32]	1,829 [7]	1,892 [39]
市外	1,734 [85]	1,754 [65]	1,693 [43]	1,697 [33]	1,801 [82]	1,864 [61]	1,619 [21]	1,801 [82]
大学院博士 前後期課程	2,700 [2]	2,700 [2]	3,000 [1]	3,000 [1]	3,500 [4]	3,867 [3]	2,400 [1]	3,500 [4]
市内	3,000 [1]	3,000 [1]	- [0]	- [0]	- [0]	- [0]	- [0]	- [0]
市外	2,400 [1]	2,400 [1]	3,000 [1]	3,000 [1]	3,500 [4]	3,867 [3]	2,400 [1]	3,500 [4]
南昌市	1,533 [488]	1,618 [359]	1,348 [497]	1,547 [232]	1,611 [481]	1,696 [354]	1,375 [127]	1,671 [481]
市内	1,538 [123]	1,698 [86]	1,442 [139]	1,597 [72]	1,642 [178]	1,715 [137]	1,395 [41]	1,671 [178]
市外	1,531 [365]	1,593 [273]	1,311 [358]	1,524 [160]	1,593 [303]	1,683 [217]	1,365 [86]	1,671 [303]
中学	1,163 [16]	1,160 [15]	1,457 [14]	1,492 [13]	1,160 [5]	1,300 [4]	600 [1]	1,300 [5]
市内	1,200 [5]	1,200 [4]	1,400 [11]	1,440 [10]	1,000 [3]	1,200 [2]	600 [1]	1,000 [3]
市外	1,145 [11]	1,145 [11]	1,667 [3]	1,667 [3]	1,400 [2]	1,400 [2]	- [0]	1,400 [2]
高校・中専	1,463 [117]	1,523 [91]	1,298 [80]	1,461 [49]	1,495 [86]	1,620 [60]	1,208 [26]	1,495 [86]
市内	1,409 [45]	1,491 [35]	1,463 [35]	1,536 [22]	1,455 [51]	1,545 [40]	1,127 [11]	1,455 [51]
市外	1,497 [72]	1,543 [56]	1,298 [45]	1,400 [27]	1,554 [35]	1,770 [20]	1,267 [15]	1,554 [35]
大学専科	1,496 [239]	1,619 [167]	1,279 [348]	1,519 [126]	1,525 [263]	1,600 [193]	1,320 [70]	1,525 [263]
市内	1,573 [45]	1,881 [27]	1,402 [82]	1,647 [30]	1,648 [84]	1,726 [62]	1,427 [22]	1,648 [84]
市外	1,478 [194]	1,569 [140]	1,241 [266]	1,479 [96]	1,468 [179]	1,540 [131]	1,271 [48]	1,468 [179]
大学本科	1,733 [110]	1,785 [82]	1,696 [54]	1,707 [43]	1,831 [121]	1,878 [93]	1,671 [28]	1,831 [121]
市内	1,728 [25]	1,906 [17]	1,709 [11]	1,740 [10]	1,892 [39]	1,906 [32]	1,829 [7]	1,892 [39]
市外	1,734 [85]	1,754 [65]	1,693 [43]	1,697 [33]	1,801 [82]	1,864 [61]	1,619 [21]	1,801 [82]
大学院博士 前後期課程	2,700 [2]	2,700 [2]	3,000 [1]	3,000 [1]	3,500 [4]	3,867 [3]	2,400 [1]	3,500 [4]
市内	3,000 [1]	3,000 [1]	- [0]	- [0]	- [0]	- [0]	- [0]	- [0]
市外	2,400 [1]	2,400 [1]	3,000 [1]	3,000 [1]	3,500 [4]	3,867 [3]	2,400 [1]	3,500 [4]

この理由は、在職者比率の相違に求められる。人材流入都市に就転職機会を求める高学歴の市外出身者の男性は、人材流出都市に就転職機会を求める高学歴の市外出身者の男性に比較して在職者比率が高く、その分だけ月給額で示される自己評価を高く見積もる者が多いのである<sup>19</sup>。

12. 希望する待遇 (1) 月給額②年齢・性別〔表 23・24〕

人材流入都市の人材交流会は、概して、市外出身の 20 歳代前半者が希望する月給額が市内出身者のそれに比較して高く、人材流出都市の人材交流会は、概して、市外出身の 20 歳代前半者

表 23 人材流入都市・希望する待遇(1)月給額②年齢・性別

		平均額					平均額					平均額		
		男性	女性		男性	女性		男性	女性		男性	女性		
北京市		2,758	2,958	2,534	3,317	3,531	2,960				2,722	2,861	2,345	
		(520)	(274)	(246)	(500)	(313)	(187)				(523)	(382)	(141)	
	市内	2,509	2,785	2,227	3,098	3,352	2,783	市内	2,684	2,909	2,133			
		(91)	(46)	(45)	(119)	(66)	(53)		(31)	(22)	(9)			
	市外	2,810	2,993	2,603	3,386	3,579	3,030	市外	2,724	2,858	2,359			
		(429)	(228)	(201)	(381)	(247)	(134)		(492)	(360)	(132)			
	15～19歳	1,700	1,750	1,600	1,867	-	1,867	15～19歳	1,800	2,000	1,733			
		(3)	(2)	(1)	(3)	(0)	(3)		(4)	(1)	(3)			
	市内	1,750	1,750	-	-	-	-	市内	1,000	-	1,000			
		(2)	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)		(1)	(0)	(1)			
	市外	1,600	-	1,600	1,867	-	1,867	市外	2,067	2,000	2,100			
		(1)	(0)	(1)	(3)	(0)	(3)		(3)	(1)	(2)			
	20～24歳	2,236	2,296	2,182	2,609	2,632	2,582	20～24歳	2,200	2,266	2,089			
		(298)	(140)	(158)	(245)	(130)	(115)		(246)	(155)	(91)			
	市内	2,152	2,296	2,044	2,389	2,232	2,495	市内	2,020	2,067	1,950			
		(63)	(27)	(36)	(62)	(25)	(37)		(10)	(6)	(4)			
	市外	2,258	2,296	2,223	2,683	2,728	2,623	市外	2,208	2,274	2,095			
		(235)	(113)	(122)	(183)	(105)	(78)		(236)	(149)	(87)			
25～29歳	3,419	3,586	3,192	3,930	4,072	3,558	25～29歳	2,992	3,031	2,834				
	(175)	(101)	(74)	(155)	(112)	(43)		(194)	(156)	(38)				
市内	2,750	2,667	3,000	3,726	3,765	3,660	市内	2,686	2,655	2,800				
	(8)	(6)	(2)	(27)	(17)	(10)		(14)	(11)	(3)				
市外	3,451	3,644	3,197	3,973	4,127	3,527	市外	3,016	3,059	2,837				
	(167)	(95)	(72)	(128)	(95)	(33)		(180)	(145)	(35)				
30～34歳	3,817	4,012	3,267	4,381	4,755	3,500	30～34歳	3,451	3,587	2,400				
	(23)	(17)	(6)	(47)	(33)	(14)		(35)	(31)	(4)				
市内	4,720	6,000	2,800	5,109	5,578	3,000	市内	3,000	3,500	2,000				
	(5)	(3)	(2)	(11)	(9)	(2)		(3)	(2)	(1)				
市外	3,567	3,586	3,500	4,158	4,446	3,583	市外	3,494	3,593	2,533				
	(18)	(14)	(4)	(36)	(24)	(12)		(32)	(29)	(3)				
35～39歳	4,260	3,950	5,500	4,173	4,080	4,371	35～39歳	3,896	3,892	3,933				
	(10)	(8)	(2)	(22)	(15)	(7)		(27)	(24)	(3)				
市内	4,250	3,000	8,000	2,850	3,400	2,300	市内	-	-	-				
	(4)	(3)	(1)	(4)	(2)	(2)		(0)	(0)	(0)				
市外	4,267	4,520	3,000	4,467	4,185	5,200	市外	3,896	3,892	3,933				
	(6)	(5)	(1)	(18)	(13)	(5)		(27)	(24)	(3)				
40～44歳	2,800	3,000	2,600	4,583	5,075	3,600	40～44歳	4,309	4,309	-				
	(4)	(2)	(2)	(12)	(8)	(4)		(11)	(11)	(0)				
市内	2,000	2,000	2,000	4,720	4,900	4,000	市内	6,300	6,300	-				
	(2)	(1)	(1)	(5)	(4)	(1)		(2)	(2)	(0)				
市外	3,600	4,000	3,200	4,486	5,250	3,467	市外	3,867	3,867	-				
	(2)	(1)	(1)	(7)	(4)	(3)		(9)	(9)	(0)				
45～49歳	3,120	4,533	1,000	3,100	3,000	4,000	45～49歳	3,600	3,600	-				
	(5)	(3)	(2)	(10)	(9)	(1)		(3)	(3)	(0)				
市内	3,120	4,533	1,000	2,600	2,320	4,000	市内	2,800	2,800	-				
	(5)	(3)	(2)	(6)	(5)	(1)		(1)	(1)	(0)				
市外	-	-	-	3,850	3,850	-	市外	4,000	4,000	-				
	(0)	(0)	(0)	(4)	(4)	(0)		(2)	(2)	(0)				
50歳～	3,500	4,000	3,000	3,440	3,440	-	50歳～	3,400	4,000	3,100				
	(2)	(1)	(1)	(5)	(5)	(0)		(3)	(1)	(2)				
市内	3,500	4,000	3,000	3,300	3,300	-	市内	-	-	-				
	(2)	(1)	(1)	(4)	(4)	(0)		(0)	(0)	(0)				
市外	-	-	-	4,000	4,000	-	市外	3,400	4,000	3,100				
	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)	(0)		(3)	(1)	(2)				

注 1. 平均額欄の括弧内の数字は、平均額算出の対象となった回答者数である。  
 2. 上海市 20～24 歳欄の全体平均額と男性平均額および 35～39 歳欄の全体平均額と男性平均額は、100,000 元を希望する回答者をそれぞれ 1 人ずつ除いた数値である。

表 24 人材流出都市・希望する待遇(1)月給額②年齢・性別

		平均額					平均額					平均額			単位 元	
		男性	女性				男性	女性				男性	女性			
鄭州市		1,533 [488]	1,618 [359]	1,295 [129]	合肥市		1,348 [497]	1,547 [232]	1,174 [265]	南昌市		1,611 [481]	1,696 [354]	1,375 [127]		
	市内	1,538 [123]	1,698 [86]	1,168 [37]		市内	1,442 [139]	1,597 [72]	1,275 [67]		市内	1,642 [178]	1,715 [137]	1,395 [41]		
	市外	1,531 [365]	1,593 [273]	1,346 [92]		市外	1,311 [358]	1,524 [160]	1,139 [198]		市外	1,593 [303]	1,683 [217]	1,365 [86]		
	15~19歳	1,587 [15]	1,571 [7]	1,600 [8]		15~19歳	969 [13]	900 [4]	1,000 [9]		15~19歳	1,044 [9]	933 [3]	1,100 [6]		
	市内	1,933 [3]	1,700 [2]	2,400 [1]		市内	1,000 [4]	900 [2]	1,100 [2]		市内	1,000 [4]	900 [2]	1,100 [2]		
	市外	1,500 [12]	1,520 [5]	1,486 [7]		市外	956 [9]	900 [2]	971 [7]		市外	1,080 [5]	1,000 [1]	1,100 [4]		
	20~24歳	1,336 [258]	1,418 [175]	1,161 [83]		20~24歳	1,255 [365]	1,421 [146]	1,145 [219]		20~24歳	1,404 [289]	1,446 [200]	1,310 [89]		
	市内	1,375 [48]	1,625 [24]	1,125 [24]		市内	1,342 [89]	1,467 [36]	1,257 [53]		市内	1,413 [75]	1,473 [52]	1,278 [23]		
	市外	1,327 [210]	1,385 [151]	1,176 [59]		市外	1,228 [276]	1,405 [110]	1,110 [166]		市外	1,400 [214]	1,436 [148]	1,321 [66]		
	25~29歳	1,785 [130]	1,854 [107]	1,461 [23]		25~29歳	1,630 [80]	1,796 [50]	1,353 [30]		25~29歳	2,064 [107]	2,123 [88]	1,789 [19]		
	市内	1,906 [34]	2,028 [29]	1,200 [5]		市内	1,609 [23]	1,725 [16]	1,343 [7]		市内	1,936 [47]	1,925 [40]	2,000 [7]		
	市外	1,742 [96]	1,790 [78]	1,533 [18]		市外	1,639 [57]	1,829 [34]	1,357 [23]		市外	2,163 [60]	2,288 [48]	1,667 [12]		
	30~34歳	1,883 [41]	1,872 [36]	1,960 [5]		30~34歳	1,770 [20]	1,788 [16]	1,700 [4]		30~34歳	1,810 [39]	1,933 [30]	1,400 [9]		
	市内	1,525 [16]	1,543 [14]	1,400 [2]		市内	1,917 [12]	1,960 [10]	1,700 [2]		市内	1,836 [33]	1,926 [27]	1,433 [6]		
	市外	2,112 [25]	2,082 [22]	2,333 [3]		市外	1,550 [8]	1,500 [6]	1,700 [2]		市外	1,667 [6]	2,000 [3]	1,333 [3]		
	35~39歳	1,810 [21]	1,765 [17]	2,000 [4]		35~39歳	1,933 [12]	1,964 [11]	1,600 [1]		35~39歳	1,586 [14]	1,636 [11]	1,400 [3]		
	市内	1,327 [11]	1,400 [9]	1,000 [2]		市内	1,625 [8]	1,629 [7]	1,600 [1]		市内	1,486 [7]	1,600 [5]	1,200 [2]		
	市外	2,340 [10]	2,175 [8]	3,000 [2]		市外	2,550 [4]	2,550 [4]	- [0]		市外	1,686 [7]	1,667 [6]	1,800 [1]		
	40~44歳	1,557 [14]	1,820 [10]	900 [4]		40~44歳	1,133 [3]	1,200 [2]	1,000 [1]		40~44歳	2,125 [8]	2,125 [8]	- [0]		
	市内	1,350 [8]	1,560 [5]	1,000 [3]		市内	1,000 [1]	- [0]	1,000 [1]		市内	1,650 [4]	1,650 [4]	- [0]		
	市外	1,833 [6]	2,080 [5]	600 [1]		市外	1,200 [2]	1,200 [2]	- [0]		市外	2,600 [4]	2,600 [4]	- [0]		
	45~49歳	1,160 [5]	1,160 [5]	- [0]		45~49歳	1,800 [3]	1,800 [3]	- [0]		45~49歳	1,933 [6]	2,200 [5]	600 [1]		
	市内	933 [3]	933 [3]	- [0]		市内	1,800 [1]	1,800 [1]	- [0]		市内	1,850 [4]	2,267 [3]	600 [1]		
	市外	1,500 [2]	1,500 [2]	- [0]		市外	1,800 [2]	1,800 [2]	- [0]		市外	2,100 [2]	2,100 [2]	- [0]		
50歳~	1,200 [4]	1,000 [2]	1,400 [2]	50歳~	- [0]	- [0]	- [0]	50歳~	2,050 [8]	2,050 [8]	- [0]					
市内	- [0]	- [0]	- [0]	市内	- [0]	- [0]	- [0]	市内	1,550 [4]	1,550 [4]	- [0]					
市外	1,200 [4]	1,000 [2]	1,400 [2]	市外	- [0]	- [0]	- [0]	市外	2,550 [4]	2,550 [4]	- [0]					

が希望する月給額が市内出身者のそれに比較して低いか、大差ない。この結果は、人材流入都市の人材交流会では市外出身者に占める大学専科卒者と大学本科卒者が希望する月給額が市内出身者のそれに比較してそれぞれ高く、人材流入都市の人材交流会では市外出身者に占める大学専科卒者と大学本科卒者が希望する月給額が市内出身者のそれに比較してそれぞれ低いか、大差ない、という学歴・性別に算出した希望する月給額の分析結果と符合する。

もっとも、以上の傾向は、人材流入都市では20歳代後半者以降の年齢層にもあてはまるが、人材流出都市では20歳代後半者以降の年齢層にはあてはまらない。人材流出都市に就転職機会を求める20歳代後半者以降の年齢層の市外出身者の希望する月給額は、人材流入都市に就転職機会を求める20歳代後半者以降の年齢層の市外出身者のそれと同様に、市内出身者の希望する

月給額を上回る結果を示し、人材流出都市に就転職機会を求める市外出身者も、高月給志向を示しているように読み取れる。筆者は、在学／在職構成の分析にあたって、一定の職歴を有する在職者がより好条件の求人数の多い人材流入都市に就転職機会を求めるようになると指摘したが、人材流出都市に止まる市外出身の高学歴者も、人材流出都市に就転職機会を求める市外出身の高学歴者と同様に、好条件の待遇を求めはじめようになると認識する<sup>20</sup>。正確を期すると、かれらの一定数は、人材流出都市に希望する条件に見合った転職機会をみいだせないと判断したとき、人材流入都市に転職機会を求めるようになると判断される。

### 13. 希望する待遇 (1) 月給額③職務【複数回答】・性別〔表 25・26〕

人材流入都市である北京市と上海市の人材交流会は、市外出身者に占める営業職志望者の希望する月給額が市内出身者のそれに比較して高く、人材流入都市である広州市と人材流出都市の人材交流会は、市外出身者に占める営業職志望者の希望する月給額が市内出身者のそれに比較して低い。

また、人材流入都市の人材交流会と人材流出都市である南昌市の人材交流会は、市外出身者に占める総務職志望者の希望する月給額が市内出身者のそれに比較して高く、人材流出都市である鄭州市と合肥市の人材交流会は、市外出身者に占める総務職志望者の希望する月給額が市内出身者のそれに比較して低い。

さらに、人材流入都市の人材交流会は、市外出身者に占める理系技術職志望者の希望する月給額が市内出身者のそれに比較して高く、人材流出都市の人材交流会は、市外出身者に占める理系技術職志望者の希望する月給額が市内出身者のそれに比較して低い。

人材流入都市に就転職機会を求める市外出身者の希望する月給額は、総じて、いずれの職務を志望する場合であっても市内出身者のそれを上回る傾向にあり、人材流出都市に就転職機会を求める市外出身者の希望する月給額は、総じて、いずれの職務を志望する場合であっても市内出身者のそれを下回る傾向にある。すなわち、希望する月給額の多寡は、志望する職務との相関の度合いはきわめて弱く、上述の結果は、すでに分析した学歴と年齢、そして在学・在職との相関の度合いを間接的に示すものにすぎないと判断される。

### 14. 希望する待遇 (2) 社会保険等〔表 27・28〕

人材流入都市と人材流出都市である南昌市の人材交流会は、市外出身者に占める社会保険<sup>21</sup>等不要者比率が市内出身者のそれに比較して高く、人材流出都市である鄭州市と合肥市の人材交流会は、市外出身者に占める社会保険等不要者比率が市内出身者のそれに比較して低い。

筆者は、社会保険等不要者は男性が女性よりも多い事実を前稿で指摘し、その理由を主たる所得者として是が非にも就業機会を獲得しなければならない男性の窮状に求めた。この見解は、22機関が主（共）催した延べ24の人材交流会の結果を総合的に分析した結果提起したものであっ

表 25 人材流入都市・希望する待遇(1)月給額③職務[複数回答]・性別

	平均額		平均額			平均額		平均額	
	男性	女性	男性	女性		男性	女性	男性	女性
北京市	市内	2,758 [520]	2,534 [246]	3,317 [500]	3,531 [313]	2,722 [523]	2,861 [382]	2,345 [141]	
	市外	2,509 [91]	2,785 [46]	3,098 [119]	3,352 [66]	2,684 [31]	2,909 [22]	2,133 [9]	
	営業職	2,810 [429]	2,993 [228]	3,386 [381]	3,579 [247]	2,724 [492]	2,858 [360]	2,359 [132]	
	市内	2,641 [166]	2,838 [96]	3,292 [186]	3,353 [122]	2,679 [252]	2,779 [192]	2,360 [60]	
	市外	2,500 [26]	2,646 [13]	3,039 [38]	3,059 [22]	2,832 [19]	3,029 [14]	2,280 [5]	
	営業職	2,667 [140]	2,867 [83]	3,357 [148]	3,418 [100]	2,667 [233]	2,760 [178]	2,367 [55]	
	市内	2,487 [115]	2,848 [29]	2,801 [91]	2,792 [26]	2,531 [96]	2,935 [46]	2,160 [50]	
	市外	2,440 [30]	3,600 [6]	2,705 [43]	2,600 [12]	2,371 [7]	2,400 [2]	2,360 [5]	
	総務職	2,504 [85]	2,652 [23]	2,888 [48]	2,957 [14]	2,544 [89]	2,959 [44]	3,200 [45]	
	市内	2,675 [59]	2,844 [27]	3,230 [57]	3,804 [24]	2,935 [82]	3,321 [48]	2,391 [34]	
	市外	1,950 [8]	2,067 [3]	3,028 [25]	3,682 [11]	2,267 [6]	1,600 [1]	2,400 [5]	
	文系技術職	2,788 [51]	2,942 [27]	3,388 [32]	3,908 [13]	2,988 [76]	3,357 [47]	2,390 [29]	
市内	2,990 [170]	3,113 [119]	3,598 [163]	3,694 [131]	2,742 [131]	2,749 [118]	2,677 [13]		
市外	2,611 [28]	2,732 [22]	3,356 [27]	3,373 [22]	2,578 [9]	2,578 [9]	-		
理系技術職	3,065 [142]	3,200 [97]	3,646 [136]	3,762 [109]	2,754 [122]	2,763 [109]	2,677 [13]		
市内	2,280 [15]	2,500 [10]	2,400 [8]	2,367 [6]	2,118 [22]	2,327 [11]	1,909 [11]		
市外	1,633 [6]	1,700 [4]	1,933 [3]	1,933 [3]	2,000 [2]	2,000 [1]	2,000 [1]		
一般職	2,711 [9]	3,033 [6]	2,680 [5]	2,800 [3]	2,130 [20]	2,360 [10]	1,900 [10]		
上海市	市内	2,758 [520]	2,534 [246]	3,317 [500]	3,531 [313]	2,722 [523]	2,861 [382]	2,345 [141]	広州市
市外	2,509 [91]	2,785 [46]	3,098 [119]	3,352 [66]	2,684 [31]	2,909 [22]	2,133 [9]		
営業職	2,810 [429]	2,993 [228]	3,386 [381]	3,579 [247]	2,724 [492]	2,858 [360]	2,359 [132]		
市内	2,641 [166]	2,838 [96]	3,292 [186]	3,353 [122]	2,679 [252]	2,779 [192]	2,360 [60]		
市外	2,500 [26]	2,646 [13]	3,039 [38]	3,059 [22]	2,832 [19]	3,029 [14]	2,280 [5]		
営業職	2,667 [140]	2,867 [83]	3,357 [148]	3,418 [100]	2,667 [233]	2,760 [178]	2,367 [55]		
市内	2,487 [115]	2,848 [29]	2,801 [91]	2,792 [26]	2,531 [96]	2,935 [46]	2,160 [50]		
市外	2,440 [30]	3,600 [6]	2,705 [43]	2,600 [12]	2,371 [7]	2,400 [2]	2,360 [5]		
総務職	2,504 [85]	2,652 [23]	2,888 [48]	2,957 [14]	2,544 [89]	2,959 [44]	3,200 [45]		
市内	2,675 [59]	2,844 [27]	3,230 [57]	3,804 [24]	2,935 [82]	3,321 [48]	2,391 [34]		
市外	1,950 [8]	2,067 [3]	3,028 [25]	3,682 [11]	2,267 [6]	1,600 [1]	2,400 [5]		
文系技術職	2,788 [51]	2,942 [27]	3,388 [32]	3,908 [13]	2,988 [76]	3,357 [47]	2,390 [29]		
市内	2,990 [170]	3,113 [119]	3,598 [163]	3,694 [131]	2,742 [131]	2,749 [118]	2,677 [13]		
市外	2,611 [28]	2,732 [22]	3,356 [27]	3,373 [22]	2,578 [9]	2,578 [9]	-		
理系技術職	3,065 [142]	3,200 [97]	3,646 [136]	3,762 [109]	2,754 [122]	2,763 [109]	2,677 [13]		
市内	2,280 [15]	2,500 [10]	2,400 [8]	2,367 [6]	2,118 [22]	2,327 [11]	1,909 [11]		
市外	1,633 [6]	1,700 [4]	1,933 [3]	1,933 [3]	2,000 [2]	2,000 [1]	2,000 [1]		
一般職	2,711 [9]	3,033 [6]	2,680 [5]	2,800 [3]	2,130 [20]	2,360 [10]	1,900 [10]		

注 1. 平均額欄の括弧内の数字は、平均額算出の対象となった回答者数である。  
 2. 上海市の営業職欄の全体平均額と男性平均額は、100,000元を希望する回答者を2人除いた数値である。

たが、6市の人材交流会の結果を個別にみると、まったく異なる様相を呈する人材交流会の存在に気づく。市外出身者に占める男性比率が市内出身者のそれを上回る鄭州市の人材交流会は、市外出身者に占める社会保険等不要者比率が市内出身者のそれに比較して低い。また、市外出身者



表 26 人材流出都市・希望する待遇(1)月給額③職務[複数回答]・性別

	平均額		平均額		平均額		平均額	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
郑州市	1,533 (488)	1,295 (129)	1,348 (497)	1,174 (265)	1,611 (481)	1,375 (127)	1,547 (232)	1,174 (265)
市内	1,538 (123)	1,698 (86)	1,442 (139)	1,275 (67)	1,642 (178)	1,395 (41)	1,597 (72)	1,275 (67)
市外	1,531 (365)	1,593 (273)	1,311 (358)	1,139 (198)	1,593 (303)	1,365 (86)	1,524 (160)	1,139 (198)
営業職	1,659 (214)	1,713 (173)	1,435 (224)	1,280 (105)	1,625 (245)	1,420 (49)	1,571 (119)	1,280 (105)
市内	1,767 (42)	1,925 (32)	1,649 (49)	1,450 (24)	1,786 (87)	1,444 (18)	1,840 (25)	1,450 (24)
市外	1,633 (172)	1,665 (141)	1,375 (175)	1,230 (81)	1,614 (158)	1,406 (31)	1,500 (94)	1,230 (81)
総務職	1,352 (62)	1,567 (24)	1,224 (161)	1,127 (129)	1,495 (103)	1,279 (56)	1,613 (32)	1,127 (129)
市内	1,400 (16)	1,950 (4)	1,324 (37)	1,200 (27)	1,428 (29)	1,329 (17)	1,660 (10)	1,200 (27)
市外	1,335 (46)	1,490 (20)	1,194 (124)	1,108 (102)	1,522 (74)	1,256 (39)	1,591 (22)	1,108 (102)
文系技術職	1,397 (72)	1,588 (33)	1,173 (119)	1,082 (97)	1,493 (83)	1,411 (37)	1,573 (46)	1,082 (97)
市内	1,587 (15)	2,086 (7)	1,326 (19)	1,133 (15)	1,446 (26)	1,354 (13)	2,050 (4)	1,133 (15)
市外	1,347 (57)	1,454 (26)	1,144 (100)	1,073 (82)	1,514 (57)	1,442 (24)	1,467 (18)	1,073 (82)
理系技術職	1,471 (152)	1,505 (132)	1,371 (76)	1,155 (22)	1,634 (135)	1,620 (10)	1,459 (54)	1,155 (22)
市内	1,507 (30)	1,578 (27)	1,526 (19)	1,200 (3)	1,653 (49)	2,000 (2)	1,588 (16)	1,200 (3)
市外	1,462 (122)	1,486 (105)	1,319 (57)	1,147 (19)	1,623 (86)	1,525 (8)	1,405 (38)	1,147 (19)
一般職	1,347 (45)	1,417 (36)	1,236 (77)	1,091 (44)	1,355 (44)	1,126 (19)	1,430 (33)	1,091 (44)
市内	1,421 (19)	1,513 (16)	1,285 (26)	1,100 (8)	1,473 (22)	1,057 (7)	1,367 (18)	1,100 (8)
市外	1,292 (26)	1,340 (20)	1,212 (51)	1,089 (36)	1,236 (22)	1,167 (12)	1,507 (15)	1,089 (36)
合肥市								
市内								
市外								
営業職								
市内								
市外								
総務職								
市内								
市外								
文系技術職								
市内								
市外								
理系技術職								
市内								
市外								
一般職								
市内								
市外								
南昌市								
市内								
市外								
営業職								
市内								
市外								
総務職								
市内								
市外								
文系技術職								
市内								
市外								
理系技術職								
市内								
市外								
一般職								
市内								
市外								

注 1. 平均額欄の括弧内の数字は、平均額算出の対象となった回答者数である。

に占める女性比率が市内出身者のそれを上回る南昌市の人材交流会は、市外出身者に占める社会保険等不要者比率が市内出身者のそれに比較して高い。それゆえ、筆者は、ここにもうひとつの現実を読み取らざるをえないだろう。

表 27 人材流入都市・希望する待遇(2)社会保険等

	全回答者				全回答者						
		必要	不要			必要	不要				
北京市	529			上海市	518						
	100.0%				100.0%						
	市内	91	83		4	市内	122	107	13		
		100.0%	91.2%		4.4%		100.0%	87.7%	10.7%		
	市外	438	403		27	市外	396	340	51		
		100.0%	92.0%		6.2%		100.0%	85.9%	12.9%		
	男性	281			男性	329					
		100.0%				100.0%					
		市内	46			42	1	市内	68	60	7
			100.0%			91.3%	2.2%		100.0%	88.2%	10.3%
市外	235	215	18	市外	261	220	36				
	100.0%	91.5%	7.7%		100.0%	84.3%	13.8%				
女性	248			女性	189						
	100.0%				100.0%						
	市内	45	41		3	市内	54	47	6		
		100.0%	91.1%		6.7%		100.0%	87.0%	11.1%		
市外	203	188	9	市外	135	120	15				
	100.0%	92.6%	4.4%		100.0%	88.9%	11.1%				
全回答者			全回答者								
必要			必要								
不要			不要								
広州市	534				79						
	100.0%				83.9%						
	市内	31	29		2	市内	31	29	2		
		100.0%	93.5%		6.5%		100.0%	93.5%	6.5%		
	市外	503	419		77	市外	503	419	77		
		100.0%	83.3%		15.3%		100.0%	83.3%	15.3%		
	男性	391				64					
		100.0%				82.6%					
		市内	22			20	2	市内	22	20	2
			100.0%			90.9%	9.1%		100.0%	90.9%	9.1%
市外	369	303	62	市外	369	303	62				
	100.0%	82.1%	16.8%		100.0%	82.1%	16.8%				
女性	143				15						
	100.0%				87.4%						
	市内	9	9		0	市内	9	9	0		
		100.0%	100.0%		0.0%		100.0%	100.0%	0.0%		
市外	134	116	15	市外	134	116	15				
	100.0%	86.6%	11.2%		100.0%	86.6%	11.2%				

さきの結果は、男性の窮状に加え、在職者比率や6市に就転職機会を求める市内出身者と市外出身者とがそれぞれ認識している当該各市における労働需給の不均衡と不一致の度合いを反映していると解釈される。たとえば、在職者は、現状の就業条件を下回る転職を受容しがたい。とはいえ、在職者といえども、労働需給の不均衡と不一致の度合いが大きいと判断すれば、求人企業にたいする社会保険等の要求を差し控えてでも泣く泣く就転職機会の獲得に動かざるをえないときもあるだろう。こうした求職者個々人の葛藤が、社会保険等不要者比率に強く影響し、鄭州市と南昌市の結果をもたらすのである。この想定に基づくと、人材流出都市である鄭州市の人材交流会は、社会保険等を不要とする市外出身者が社会保険等を不要とする市内出身者より5.6ポイント

表 28 人材流出都市・希望する待遇(2)社会保険等

	全回答者				全回答者						
		必要	不要			必要	不要				
鄭州市	全回答者			合肥市	全回答者						
		491	364		110		500	420	64		
		100.0%	74.1%		22.4%		100.0%	84.0%	12.8%		
	市内	124	88		33	市内	140	114	19		
		100.0%	71.0%		26.6%		100.0%	81.4%	13.6%		
	市外	367	276		77	市外	359	306	45		
		100.0%	75.2%		21.0%		100.0%	85.2%	12.5%		
	男性	362			男性	235					
			100.0%			72.9%	23.2%		100.0%	80.0%	15.7%
		市内	87			58	26	市内	74	60	10
			100.0%			66.7%	29.9%		100.0%	81.1%	13.5%
	市外	275	206		58	市外	161	128	27		
100.0%		74.9%	21.1%	100.0%	79.5%		16.8%				
女性	129			女性	265						
		100.0%	77.5%		20.2%		100.0%	87.5%	10.2%		
	市内	37	30		7	市内	67	54	9		
		100.0%	81.1%		18.9%		100.0%	80.6%	13.4%		
市外	92	70	19	市外	198	178	18				
	100.0%	76.1%	20.7%		100.0%	89.9%	9.1%				
南昌市	全回答者			全回答者							
		482	383	80							
		100.0%	79.5%	16.6%							
	市内	178	144	24							
		100.0%	80.9%	13.5%							
	市外	304	239	56							
		100.0%	78.6%	18.4%							
	男性	355									
			100.0%	78.0%	18.0%						
		市内	137	108	21						
			100.0%	78.8%	15.3%						
	市外	218	169	43							
		100.0%	77.5%	19.7%							
	女性	127									
			100.0%	83.5%	12.6%						
市内		41	36	3							
		100.0%	87.8%	7.3%							
市外	86	70	13								
	100.0%	81.4%	15.1%								

ント少なく、市外出身者が市内出身者よりも労働需給の不均衡と不一致の度合いを小さく見積もっていると判断される。また、広州市の人材交流会は、社会保険等を不要とする市外出身者が社会保険等を不要とする市内出身者より8.8ポイント多く、市外出身者が市内出身者よりも労働需給の不均衡と不一致の度合いを大きく見積もっていると判断される。鄭州市の人材交流会を訪れた市外出身者は、市内出身者よりも就転職機会の獲得に楽観的であり、広州市の人材交流会を訪れた市外出身者は、市内出身者よりも就転職機会の獲得に悲観的であるといえよう。

なお、鄭州市の人材交流会は、市内出身者に占める社会保険等不要者比率が26.6%、市外出身者に占める社会保険等不要者比率が21.0%といずれも群を抜いており、求職者が実感してい

る就転職機会の不足の度合いが在学／在職構成の分析結果に示された失業者比率に表れる以上に高いと推察される。鄭州市を省都とする河南省は、不本意な就業を余儀なくされている高学歴若年層を合肥市を省都とする安徽省と南昌市を省都とする江西省よりも多く抱えていると推測される。

## 第 2 章 河南省・安徽省・江西省出身者の就転職地別属性比較

続いて、鄭州市・合肥市・南昌市を省都とする河南省・安徽省・江西省の出身者のみを 6 市の人材交流会を訪れた求職者から抽出し、人材流出都市である省都（省内）に就転職機会を求める者と人材流入都市である北京市・上海市・広州市（省外）に就転職機会を求める者の属性を 3 省出身者別に比較していきたい。

### 1. 男女構成〔表 29〕

3 省出身者とも、概して、人材流入都市に就転職機会を求める者に占める男性比率が人材流出都市に就転職機会を求める者のそれに比較して高い。筆者は、前章の男女構成の分析にあたって、出生地でない二（一）級行政区に就転職機会を求める者に占める男性比率は、出生地である二（一）級行政区に就転職機会を求める者のそれに比較して高いという結果を示したが、出生地でない二（一）級行政区に就転職機会を求める者に占める男性比率自体も、人材流入都市と人材流出都市とでは隔たるという結果を示すことになった。

筆者は、この結果から、就転職機会の獲得にともなう地域間移動の物理的距離の平均は、同様に高学歴者であっても、男性が女性に比較して長いと認識する<sup>22</sup>。女性は、伝統的価値観や家庭事情などの影響を強く受けて両親の居住地の近くに止まりやすいと考えられる。

江西省出身者は、北京市に就転職機会を求める者においては女性比率が男性比率を上回っているが、これは、おそらく標本誤差に起因すると思われる。

表 29 河南省・安徽省・江西省出身者・男女構成

	河南省出身者		安徽省出身者		江西省出身者	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
省 都	340 73.6%	122 26.4%	227 47.6%	250 52.4%	290 73.8%	103 26.2%
北京市	22 57.9%	16 42.1%	7 87.5%	1 12.5%	4 44.4%	5 55.6%
上海市	20 74.1%	7 25.9%	31 64.6%	17 35.4%	28 75.7%	9 24.3%
広州市	30 78.9%	8 21.1%	13 92.9%	1 7.1%	47 79.7%	12 20.3%

### 2. 平均年齢〔表 30〕

河南省出身者と安徽省出身者は、概して、人材流入都市に就転職機会を求める者の平均年齢が人材流出都市に就転職機会を求める者のそれに比較して高い。筆者は、前章の平均年齢の分析に

表 30 河南省・安徽省・江西省出身者・平均年齢

	河南省 出身者	安徽省 出身者	江西省 出身者
省 都	25.7 [462]	23.5 [476]	25.8 [392]
北京市	25.7 [38]	24.0 [8]	24.0 [9]
上海市	26.4 [26]	26.7 [48]	25.9 [37]
広州市	27.1 [38]	26.9 [14]	25.7 [59]

注 平均額欄の括弧内の数字は、平均額算出の対象となった回答者数である。

あたって、出生地でない二（一）級行政区に就転職機会を求める者の平均年齢は、出生地である二（一）級行政区に就転職機会を求める者のそれに比較して低いという結果を示したが、出生地でない二（一）級行政区に就転職機会を求める者の平均年齢自体も、人材流入都市と人材流出都市とは隔たるという結果を示すことになった。

この理由は、前章で述べたように、人材流出都市で一定の職歴を積むことによって高位の年齢層に区分されるようになった在職者がより好条件の求人数の多い人材流入都市に転職機会を求めようになるためである。

江西省出身者は、上海市に就転職機会を求める者においては同様の傾向がみられたが、北京市と広州市に就転職機会を求める者においては有意な差はみられなかった。

### 3. 学歴構成〔表 31〕

3省出身者とも、人材流入都市に就転職機会を求める者に占める大学本科卒者比率が人材流出都市に就転職機会を求める者のそれに比較して高い。筆者は、前章の学歴構成の分析にあたって、出生地でない二（一）級行政区に就転職機会を求める者に占める大学本科卒者比率は、出生地である二（一）級行政区に就転職機会を求める者のそれに比較して高いという結果を示したが、出生地でない二（一）級行政区に就転職機会を求める者に占める大学本科卒者比率自体も、

表 31 河南省・安徽省・江西省出身者・学歴構成

	河南省出身者			安徽省出身者			江西省出身者		
	大学専科	大学本科	大学院	大学専科	大学本科	大学院	大学専科	大学本科	大学院
省 都	229 49.6%	99 21.4%	2 0.4%	335 70.2%	48 10.1%	1 0.2%	201 51.1%	102 26.0%	3 0.8%
北京市	9 23.7%	19 50.0%	8 21.1%	1 12.5%	6 75.0%	1 12.5%	2 22.2%	6 66.7%	1 11.1%
上海市	8 29.6%	18 66.7%	1 3.7%	18 37.5%	17 35.4%	8 16.7%	11 29.7%	22 59.5%	3 8.1%
広州市	17 44.7%	15 39.5%	0 0.0%	9 64.3%	4 28.6%	1 7.1%	29 49.2%	21 35.6%	3 5.1%

注 1. 大学院は、博士前期課程修了者と博士後期課程修了者の合計である。

2. 非高学歴者は、省略した。

人材流入都市と人材流出都市とでは大きく隔たるという結果を示すことになった。

筆者は、この結果から、人材流入都市の人材交流会を訪れる求職者の平均就学年数は、人材流出都市の人材交流会を訪れる求職者のそれに比較して長いと推測する。求職者の高学歴化の度合いは、大都市に就転職機会を求める者ほど高まる傾向にあるといえよう。

#### 4. 戸籍構成〔表 32〕

3省出身者とも、概して、人材流入都市に就転職機会を求める者に占める農業戸籍保有者比率が人材流出都市に就転職機会を求める者のそれに比較して低い。筆者は、前章の戸籍構成の分析にあたって、出生地でない二（一）級行政区に就転職機会を求める者に占める農業戸籍保有者比率は、出生地である二（一）級行政区に就転職機会を求める者のそれに比較して高いという結果を示したが、出生地でない二（一）級行政区に就転職機会を求める者に占める農業戸籍保有者比率自体も、人材流入都市と人材流出都市とでは大きく隔たるという結果を示すことになった。

この結果は、前稿で述べたように、都市と農村という出生地の相違が最終学歴の決定に大きな影響を与え、その結果決まった最終学歴が就転職機会の獲得にともなう若年層の地域間移動にも無視しえない影響を及ぼしている事実を示している。筆者は、この結果と平均年齢および在学／在職構成の分析結果から、3省出身者をはじめとする内陸一級行政区出身の農業戸籍保有者の多くは、新卒時に無思慮に人材流入都市に就転職機会を求めず、人材流出都市で一定の職歴を積むことによって学歴の不利を補った後、人材流出都市に転職機会を求める手順をふんでいると考える。かれらがこうした手順をふむ背景には、人口の純流入が多い大都市であればあるほど転入にたいする制限が厳格であることに加え、市外出身者が就転職機会の獲得で事実上差別されている現実がある<sup>23,24</sup>。内陸一級行政区出身の農業戸籍保有者の多くは、転入制限と差別を乗り越えるための付加価値を求められるのである。

表 32 河南省・安徽省・江西省出身者・戸籍構成

	河南省出身者		安徽省出身者		江西省出身者	
	住民／ 非農業	農業	住民／ 非農業	農業	住民／ 非農業	農業
省 都	257 55.6%	195 42.2%	357 74.8%	110 23.1%	323 82.2%	64 16.3%
北京市	29 76.3%	9 23.7%	4 50.0%	3 37.5%	8 88.9%	1 11.1%
上海市	22 81.5%	5 18.5%	43 89.6%	5 10.4%	31 83.8%	5 13.5%
広州市	26 68.4%	12 31.6%	10 71.4%	3 21.4%	46 78.0%	11 18.6%

#### 5. 人材交流会情報の入手経路〔表 33〕

3省出身者とも、概して、人材流入都市に就転職機会を求める者に占める URL 利用者比率が人材流出都市に就転職機会を求める者のそれに比較して高い。筆者は、前章の人材交流会情報の

表 33 河南省・安徽省・江西省出身者・人材交流会情報の入手経路【複数回答】

	河南省出身者			安徽省出身者			江西省出身者		
	新聞	URL	知人	新聞	URL	知人	新聞	URL	知人
省 都	163 35.3%	74 16.0%	108 23.4%	179 37.5%	147 30.8%	119 24.9%	138 35.1%	146 37.2%	55 14.0%
北京市	11 28.9%	21 55.3%	3 7.9%	1 12.5%	6 75.0%	2 25.0%	2 22.2%	7 77.8%	4 44.4%
上海市	14 51.9%	15 55.6%	0 0.0%	18 37.5%	26 54.2%	3 6.3%	8 21.6%	28 75.7%	1 2.7%
広州市	10 26.3%	20 52.6%	8 21.1%	4 28.6%	4 28.6%	3 21.4%	11 18.6%	22 37.3%	13 22.0%

注 新聞・URL・知人以外の入手経路は、省略した。

入手経路の分析にあたって、出生地でない二（一）級行政区に就転職機会を求める者に占めるURL利用者比率は、出生地である二（一）級行政区に就転職機会を求める者のそれに比較して高いという結果を示したが、出生地でない二（一）級行政区に就転職機会を求める者に占めるURL利用者比率自体も、人材流入都市と人材流出都市とでは大きく隔たるという結果を示すことになった。

この結果は、遠隔地で開催される人材交流会を訪れる高学歴若年層は、URLを利用して人材交流会の情報を事前に相当程度吟味していることを示している。高学歴若年層は、労働需給の不均衡については如何ともしがたいが<sup>25</sup>、労働需給の不一致についてはその可能性を最小限度に止めるようにしているようであり、その意味ではURLを利用して秩序だった地域間移動をしているように見受けられる。

安徽省出身者は、広州市に就転職機会を求める者に相反する傾向がみられるが、それは、前章で指摘した広州市の人材交流会の開催頻度に基づくものである。

## 6. 人材交流会開催都市における高等教育機関の在学経験〔表 34〕

3省出身者とも、概して、人材流入都市に就転職機会を求める者に占める人材交流会開催都市における高等教育機関在学経験保有者比率が人材流出都市に就転職機会を求める者のそれに比較して低い。筆者は、前章の人材交流会開催都市における高等教育機関の在学経験の分析にあつ

表 34 河南省・安徽省・江西省出身者・人材交流会開催都市における高等教育機関の在学経験

	河南省出身者		安徽省出身者		江西省出身者	
	有	無	有	無	有	無
省 都	205 44.4%	253 54.8%	247 51.8%	226 47.4%	195 49.6%	189 48.1%
北京市	22 57.9%	16 42.1%	2 25.0%	6 75.0%	6 66.7%	3 33.3%
上海市	2 7.4%	25 92.6%	11 22.9%	36 75.0%	2 5.4%	32 86.5%
広州市	3 7.9%	35 92.1%	2 14.3%	12 85.7%	6 10.2%	53 89.8%

て、出生地でない二（一）級行政区に就転職機会を求める者に占める人材交流会開催都市における高等教育機関在学経験保有者比率は、人材流入都市では出生地である二（一）級行政区に就転職機会を求める者のそれに比較して低く、人材流出都市では出生地である二（一）級行政区に就転職機会を求める者のそれに比較して高いという結果を示したが、出生地でない二（一）級行政区に就転職機会を求める者に占める人材交流会開催都市における高等教育機関在学経験保有者比率自体も、人材流入都市と人材流出都市とは大きく隔たるという結果を示すことになった。

この結果は、縁故関係をもたない高学歴者を引き寄せる都市の力の相違という前章の人材交流会開催都市における高等教育機関の在学経験の分析結果を裏書きしている。

河南省出身者と江西省出身者は、北京市に就転職機会を求める者に相反する傾向がみられるが、これは、おそらく標本誤差に起因すると思われる。

### 7. 在学／在職構成〔表 35〕

3省出身者とも、概して、人材流入都市に就転職機会を求める者に占める在職者比率が人材流出都市に就転職機会を求める者のそれに比較して高い。筆者は、前章の在学／在職構成の分析にあたって、出生地でない二（一）級行政区に就転職機会を求める者に占める在職者比率は、人材流入都市では出生地である二（一）級行政区に就転職機会を求める者のそれに比較して高く、人材流出都市では出生地である二（一）級行政区に就転職機会を求める者のそれに比較して低いという結果を示したが、出生地でない二（一）級行政区に就転職機会を求める者に占める在職者比率自体も、人材流入都市と人材流出都市とは大きく隔たるという結果を示すことになった。

3省出身者の一定数は、戸籍構成の分析結果にも示されたように、新卒時に人材流出都市に就職機会を求め、一定の職歴を積んだ後に人材流入都市に転職機会を求めていると考えられる。こうした選択の背後には、出生地の相違に強く規定された新卒時の就職活動期における制度的および非制度的要因による競争劣位意識と家庭をもつ年齢に達したかれらの就業条件の改善にたいする期待とが並存すると考えられる。

江西省出身者は、北京市に就転職機会を求める者に唯一相反する傾向がみられるが、これは、おそらく標本誤差に起因すると思われる。

表 35 河南省・安徽省・江西省出身者・在学／在職構成

	河南省出身者				安徽省出身者				江西省出身者			
	新卒見込者	新卒者	在職者	失業者	新卒見込者	新卒者	在職者	失業者	新卒見込者	新卒者	在職者	失業者
省 都	64	111	107	173	149	79	86	153	28	92	87	177
	13.9%	24.0%	23.2%	37.4%	31.2%	16.6%	18.0%	32.1%	7.1%	23.4%	22.1%	45.0%
北京市	14	3	15	5	3	1	3	1	5	1	0	3
	36.8%	7.9%	39.5%	13.2%	37.5%	12.5%	37.5%	12.5%	55.6%	11.1%	0.0%	33.3%
上海市	5	5	8	9	13	7	18	7	8	2	18	8
	18.5%	18.5%	29.6%	33.3%	27.1%	14.6%	37.5%	14.6%	21.6%	5.4%	48.6%	21.6%
広州市	2	2	17	14	1	2	5	6	6	4	27	21
	5.3%	5.3%	44.7%	36.8%	7.1%	14.3%	35.7%	42.9%	10.2%	6.8%	45.8%	35.6%

注 一時帰休者は、実質に配慮して失業者に含めた。



## 8. 人材交流会の利用回数〔表 36〕

3省出身者とも、概して、人材流入都市に就転職機会を求める者に占める当該人材市場が主（共）催する人材交流会の初回利用者比率が人材流出都市に就転職機会を求める者のそれに比較して高い。筆者は、前章の人材交流会の利用回数の分析にあたって、出生地でない二（一）級行政区に就転職機会を求める者に占める当該人材市場が主（共）催する人材交流会の初回利用者比率は、人材流入都市では出生地である二（一）級行政区に就転職機会を求める者のそれに比較して高く、人材流出都市では出生地である二（一）級行政区に就転職機会を求める者のそれに比較して低いという結果を示したが、出生地でない二（一）級行政区に就転職機会を求める者に占める当該人材市場が主（共）催する人材交流会の初回利用者比率自体も、人材流入都市と人材流出都市とは大きく隔たるという結果を示すことになった。

この結果は、人材交流会開催都市における高等教育機関の在学経験の分析にあたって指摘したように、縁故関係をもたない高学歴者を引き寄せる都市の力の相違に起因する。

表 36 河南省・安徽省・江西省出身者・人材交流会の利用回数

	河南省出身者				安徽省出身者				江西省出身者			
	1回	2～5回	6～9回	10回～	1回	2～5回	6～9回	10回～	1回	2～5回	6～9回	10回～
省 都	160 34.6%	236 51.1%	46 10.0%	19 4.1%	105 22.0%	252 52.8%	60 12.6%	55 11.5%	87 22.1%	179 45.5%	59 15.0%	66 16.8%
北京市	20 52.6%	15 39.5%	2 5.3%	0 0.0%	6 75.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 66.7%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
上海市	20 74.1%	5 18.5%	0 0.0%	2 7.4%	27 56.3%	16 33.3%	3 6.3%	1 2.1%	18 48.6%	15 40.5%	2 5.4%	2 5.4%
広州市	14 36.8%	13 34.2%	3 7.9%	7 18.4%	4 28.6%	5 35.7%	2 14.3%	3 21.4%	12 20.3%	26 44.1%	10 16.9%	10 16.9%

## 9. 志望職務【複数回答】〔表 37〕

3省出身者とも、概して、人材流入都市に就転職機会を求める者に占める営業職志望者比率が人材流出都市に就転職機会を求める者のそれに比較して低い。筆者は、前章の志望職務の分析にあたって、出生地でない二（一）級行政区に就転職機会を求める者に占める営業職志望者比率は、概して、出生地である二（一）級行政区に就転職機会を求める者のそれに比較して高いという結果を示したが、出生地でない二（一）級行政区に就転職機会を求める者に占める営業職志望者比率自体も、人材流入都市と人材流出都市とは大きく隔たるという結果を示すことになった。

営業職志望者は、前稿で分析したように、男性比率が圧倒的に高かった。とすれば、人材流出都市に比較して物理的距離の遠い人材流入都市に就転職機会を求める者に占める営業職志望者比率は、第1章の男女構成の分析結果に示されるように、物理的距離の近い人材流入都市に就転職機会を求める者のそれに比較して男性比率が高まる分だけ高くならなければならない。

この逆転現象は、志望職務を尋ねる項目が複数回答であったことに起因している。興味深いことに、同一省出身者であっても、人材流入都市に就転職機会を求めると人材流出都市に就転職機会を求めるとでは、1人あたり志望職務記入数に隔たりがみられる。河南省出身者は、鄭州市の人材交流会に462名、北京市の人材交流会に34名、上海市の人材交流会に24名、広州市の

表 37 河南省・安徽省・江西省出身者・在学/志望職務【複数回答】

	河南省出身者					安徽省出身者				
	営業職	総務職	文系 技術職	理系 技術職	一般職	営業職	総務職	文系 技術職	理系 技術職	一般職
省 都	205	57	70	142	45	213	153	113	73	72
	44.4%	12.3%	15.2%	30.7%	9.7%	44.7%	32.1%	23.7%	15.3%	15.1%
北京市	12	4	4	13	1	3	0	0	4	0
	31.6%	10.5%	10.5%	34.2%	2.6%	37.5%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
上海市	9	5	2	8	0	20	6	5	16	1
	33.3%	18.5%	7.4%	29.6%	0.0%	41.7%	12.5%	10.4%	33.3%	2.1%
広州市	16	10	3	10	3	6	2	1	3	0
	42.1%	26.3%	7.9%	26.3%	7.9%	75.0%	25.0%	12.5%	37.5%	0.0%
	江西省出身者									
	営業職	総務職	文系 技術職	理系 技術職	一般職					
省 都	194	81	65	114	39					
	49.4%	20.6%	16.5%	29.0%	9.9%					
北京市	2	3	1	2	0					
	22.2%	33.3%	11.1%	22.2%	0.0%					
上海市	14	4	4	11	0					
	37.8%	10.8%	10.8%	29.7%	0.0%					
広州市	25	6	12	14	2					
	42.4%	10.2%	20.3%	23.7%	3.4%					

人材交流会に42名いたが、1人あたり志望職務記入数は、順に1.123, 0.895, 0.889, 1.105であった。同様に、安徽省出身者は、合肥市の人材交流会に477名、北京市の人材交流会に8名、上海市の人材交流会に48名、広州市の人材交流会に8名いたが、1人あたり志望職務記入数は、順に1.308, 0.875, 1.000, 1.500であった。残る江西省出身者は、南昌市の人材交流会に393名、北京市の人材交流会に9名、上海市の人材交流会に37名、広州市の人材交流会に59名いたが、1人あたり志望職務記入数は、順に1.255, 0.889, 0.892, 1.000であった。

筆者は、以上の結果に鑑みて、人材流入都市に就転職機会をを求める3省出身者は、人材流出都市に就転職機会をを求める3省出身者に比較して志望職務を絞り込んでいる、と考える。この仮説は、一定の職歴を積んだ後に人材流入都市に転職機会を求めている在職者が多いという戸籍構成と在学/在職構成の分析結果とも符合する。人材流入都市に就転職機会をを求める市外出身者の1人あたり志望職務記入数は、一定の専門技術を身につけたかれらが第二志望以下の職務の記入を控えるようになるために人材流出都市に就転職機会をを求める市外出身者の1人あたり志望職務記入数に比較して少なめに算出され、一見ただけでは矛盾しているとしか受け止められない上述の結果を生じさせるのである。男女構成を念頭においた場合に他の職務にみられる逆転現象も、人材流入都市に就転職機会をを求める者の1人あたり志望職務記入数の少なさに起因する。

#### 10. 希望する待遇 (1) 月給額 [表 38]

3省出身者とも、人材流入都市に就転職機会をを求める者が希望する月給額が人材流出都市に就転職機会を求める者が希望する月給額に比較して高い。

就転職機会の獲得にともなう高学歴若年層の地域間移動は、やはり年齢、学歴、職歴などで同

表 38 河南省・安徽省・江西省出身者・希望する待遇(1)月給額

	河南省 出身者	安徽省 出身者	江西省 出身者
省 都	1,505 [459]	1,347 [474]	1,616 [392]
北京市	3,116 [38]	3,575 [8]	2,600 [9]
上海市	3,348 [27]	3,116 [45]	5,570 [37]
広州市	2,897 [37]	2,986 [14]	3,154 [59]

注 平均額欄の括弧内の数字は、平均額算出の対象となった回答者数である。

様の属性をもつにもかかわらず地域間経済格差によって月給額が隔たるといふ現実を打破するためになされており、高月給志向は、大都市に移動する者にとりわけ強く表れるといえよう。

### 11. 希望する待遇 (2) 社会保険等〔表 39〕

河南省出身者は、北京市と広州市の人材交流会に就転職機会を求める者に占める社会保険等不要者比率が人材流出都市（鄭州市）に就転職機会を求める者のそれに比較して低く、上海市の人材交流会に就転職機会を求める者に占める社会保険等不要者比率が人材流出都市（鄭州市）に就転職機会を求める者のそれとほぼ同水準になる。安徽省出身者は、人材流入都市の人材交流会に就転職機会を求める者に占める社会保険等不要者比率が人材流出都市（合肥市）に就転職機会を求める者のそれとほぼ同水準になる。江西省出身者は、北京市の人材交流会に就転職機会を求める者に占める社会保険等不要者比率が人材流出都市（南昌市）に就転職機会を求める者のそれに比較して低く、上海市の人材交流会に就転職機会を求める者に占める社会保険等不要者比率が人材流出都市（南昌市）に就転職機会を求める者のそれに比較して高く、広州市の人材交流会に就転職機会を求める者に占める社会保険等不要者比率が人材流出都市（南昌市）に就転職機会を求める者のそれとほぼ同水準になる。筆者は、前章の希望する待遇 (2) 社会保険等の分析にあたって、出生地でない二 (一) 級行政区に就転職機会を求める者に占める社会保険不要者比率は、概して、人材流入都市では出生地である二 (一) 級行政区に就転職機会を求める者のそれに

表 39 河南省・安徽省・江西省出身者・希望する待遇(2)社会保険等

	河南省出身者		安徽省出身者		江西省出身者	
	必要	不要	必要	不要	必要	不要
省 都	342 74.0%	103 22.3%	401 84.1%	60 12.6%	313 79.6%	62 15.8%
北京市	35 92.1%	3 7.9%	7 87.5%	1 12.5%	8 88.9%	1 11.1%
上海市	21 77.8%	6 22.2%	39 81.3%	6 12.5%	28 75.7%	8 21.6%
広州市	33 86.8%	4 10.5%	12 85.7%	2 14.3%	49 83.1%	10 16.9%

比較して高く、人材流出都市では出生地である二(一)級行政区に就転職機会を求める者のそれに比較して低いという結果を示したが、出生地でない二(一)級行政区に就転職機会を求める者に占める社会保険等不要者比率は、3省出身者にかぎっていけば法則性に欠けているという結果を示すことになった。

ここでも、22機関が主(共)催した延べ24の人材交流会の結果を総合的に分析した結果提起した前稿の見解を裏切る結果が示された。男性比率が高い人材流入都市に就転職機会を求める者に占める社会保険等不要者比率は、女性比率が高い人材流出都市に就転職機会を求める者のそれに比較してかならずしも高くなっていない。この理由も、前章の希望する待遇<sup>(2)</sup>社会保険等の分析にあたってすでに指摘した要因に基づくと考えられる。すなわち、在職者比率や6市に就転職機会を求める市内出身者と市外出身者とがそれぞれ認識している当該各市における労働需給の不均衡と不一致の度合いが、全体的にみると法則性を欠く結果をもたらしているであろう。

## おわりに

最後に、本稿で試みた就転職機会の獲得にともなう地域間移動の分析結果を要約し、この結果から類推される中国全土に共通する高学歴若年層の労働供給の特徴を提起したい。

第一に、就転職機会の獲得にともなって地域間移動を行う高学歴若年層は、男性が多く、物理的移動距離の平均も、男性が女性に比較して長い。

第二に、就転職機会の獲得にともなって地域間移動を行う高学歴若年層は、20歳代前半者が多い。

第三に、就転職機会の獲得にともなって人材流入都市を訪れる市外出身の高学歴若年層は、20歳代後半者比率が市内出身の高学歴若年層に比較して高い。

第四に、就転職機会の獲得にともなって地域間移動を行う高学歴若年層は、大学本科卒者が多い。

第五に、就転職機会の獲得にともなって人材流入都市を訪れる市外出身の高学歴若年層は、在職者比率が市内出身の高学歴若年層に比較して高い。

第六に、就転職機会の獲得にともなって地域間移動を行う高学歴若年層は、主としてURLを利用して人材交流会の情報を事前に入手している。

第七に、就転職機会の獲得にともなって人材流入都市を訪れる市外出身の高学歴若年層の多くは、当該人材流入都市に縁故関係をもたない。

第八に、就転職機会の獲得にともなって人材流入都市を訪れる市外出身の高学歴若年層の多くは、第三・第四・第五の分析結果に示した属性をもつために、市内出身の高学歴若年層に比較して高月給を望む。

第九に、農業戸籍を保有する北京市を除く内陸一級行政区出身の高学歴若年層の相当数は、新卒時に省都・自治区首府で一定の職歴を積むことによって出生地の相違に規定される就業条件上

の不利を補った後、就業条件のよい北京市・上海市・広州市に転職機会を求めている。

第十に、北京市・上海市・広州市に転職機会を求める北京市を除く内陸一級行政区出身の高学歴若年層は、出身地となる内陸一級行政区の省都・自治区首府に就転職機会を求める高学歴若年層に比較して志望する職務をあらかじめ絞り込んでいる。

筆者は、6市の人材交流会を訪れた求職者の属性を分析した結果、中国共産党・政府の人材流動・配置政策の効果は乏しく、高学歴若年層が大都市圏に集中する傾向は今後いっそう強まると予測する。

なお、本稿の主要内容は、2008年11月29日に専修大学神田キャンパスで開催されたアジア市場経済学会東部部会ですでに報告してある。当日、有益な助言をお寄せいただいた討論者の柏木理佳先生をはじめとする学会の会員の方々はこの場を借りてとくに感謝の意を捧げたい。

本稿の内容は、本来であれば当学会の機関誌により論点を絞ったうえで発表されるべきものである。しかし、筆者は、前稿の末尾で本誌に地域間移動に焦点を合わせた論考を発表することを宣言しており、また類似の調査報告をみない本稿の性格上、比較的多くの紙幅を頂戴して図表を提示しておく必要を強く認め、アジア市場経済学会の機関誌よりもあえて本誌を優先した次第である。

筆者は、次稿では、上海市、南京市、蘇州市、寧波市の人材交流会で実施したアンケート調査の結果を利用して、長江デルタに位置する4市の求職者の属性を詳細に分析してみたい。

## 注

- 1 柳澤和也「現代中国における高学歴若年層の就転職事情(1)——人材交流会求職者にたいするアンケート調査の比較分析を通じて」神奈川大学経済学会『商経論叢』第43巻第3・4合併号、2008年3月、55～113頁。
- 2 中華人民共和国内務部「人材市場管理規定」(2001年9月11日施行)第4条。  
ここでいう地方政府とは、一級(省級)行政区に相当する直轄市・省・自治区、二級(地級)行政区に相当する地級市・地区・自治州・盟、三級(県級)行政区に相当する市轄区・県級市・県・自治県・旗・自治旗・特区・林区の行政を分掌する政府を指す。四級(郷級)行政区に相当する区公所・鎮・郷・蘇木・民族郷・民族蘇木・街道の行政を分掌する政府は、人材交流会を主催する権限をもたない。
- 3 2008年3月に開催された第11期全国人民代表大会は、「大部門制」の確立をめざして国务院の機構改革を決定した。その結果、旧人事部は、旧労働・社会保障部と統合され、人力資源・社会保障部に再編された。人材市場は、人事部と労働・社会保障部が人力資源・社会保障部に統合されたことを受けて、旧労働・社会保障部傘下の公的機関である「労働力市場」とともに「人力資源市場」を構成する一翼という位置づけがなされるようになった。
- 4 日野みどり『現代中国の「人材市場」』創土社、2004年。  
日野は、人材市場の形成過程と業務の詳細を文献(電子媒体を含む)調査と現地調査に基づいてまとめており、人材交流会の現状と課題も詳述している。  
なお、人材市場は、現在の中国では一般に「人才市場」と表記している。日本語と同様の「人材市場」という表記も、少数とはいえ存在するが(両表記のあいだに概念上の相違はない)、すでに日野〔2004〕が詳述しているように、改革・開放政策への転換以降は「人才市場」に事実上一本化されているといえよう。本稿は、日本語論文であるために、固有名である機関の名称を除いて人材市場と表記する。

- 5 図1・2・3は、本格的な分析に先立って、求職者が北京市・上海市・広州市の人材交流会に広域から集まってきた事実と3市ごとに市外出身者の出生地に偏りが存在する事実を示している。北京市の人材交流会は、河北省、遼寧省、内蒙古自治区東南部、上海市の人材交流会は、江蘇省、安徽省、江西省、広州市の人材交流会は、広東省はもちろん、湖南省、江西省、広西壮族自治区から求職者を多く集めている。就転職機会の獲得にともなう高学歴若年層の地域間移動は、出生地・就転職地間の物理的距離とそれに起因する言語や風土、そしてそれらの結果決定される就転職地の同郷者数などの影響をやはり免れることはできないようである。
- 6 人材市場を直接ないし間接に運営している一級・二級行政区の地方政府と三級行政区の地方政府の行政レベルの相違は、出展企業数と求職者数とで計られる人材交流会の規模と密接に関係している。筆者たちは、2007年2月29日と3月1日に北京市でアンケート調査を連続して2回実施したが、三級行政区である北京市朝陽区の人事局傘下の朝陽人才市場が主催する人材交流会と一級行政区である北京市人事局の認可を受けた民間企業の北京工体人才市場が主催する人材交流会とでは、催事色の強い特別の場合を除いて、人材交流会の規模が大きく異なっている事実を知った。筆者は、上海市と広州市の人材交流会との比較をする関係上、規模が大きい北京工体人才市場主催の人材交流会で実施したアンケート調査の結果を利用する。
- 7 北京市と上海市は、直轄市であり、一級行政区に相当する。
- 8 筆者たちが実施したアンケート調査は、就学や婚姻の結果として出生地でない二（一）級行政区に就転職機をを求める者および幼少時の挙家移動の結果として出生地でない二（一）級行政区に就転職機をを求める者と賃金水準や失業率などの就業条件の相違を背景にして出生地でない二（一）級行政区に就転職機をを求める者とを弁別できるように設計されていない。
- 9 「大学専科」は、日本の短期大学に相当し、卒業資格として学位を授与できない。
- 10 35歳以上になる非若年層の人数（比率）は、北京市の人材交流会23人（4.3%）、上海市の人材交流会53人（10.2%）、広州市の人材交流会47人（8.8%）、鄭州市の人材交流会45人（9.2%）、合肥市の人材交流会20人（4.0%）、南昌市の人材交流会25人（5.2%）である。
- 11 人事廳／局傘下の公的機関である人材市場は、前稿で紹介したように、管理職従事者や技術資格保有者を大学院博士前後期課程修了者とともに「高級人材」と位置づけ、非高学歴者であっても、大学専科卒業以上の高学歴者と同様に就業仲介サービスを提供する対象としている。
- 12 國務院人口普查辦公室・國家統計局人口和社会科技統計司編『中国2000年人口普查資料』（上冊）中国統計出版社、2002年、593～602頁。  
第5回人口センサス（2000年）から推計される高学歴若年層の男女構成は、男性54.4%、女性45.6%である。筆者は、2000年に実施された人口センサスで15～29歳に区分された世代のなかから高等教育機関就学者だけをとりだして以上の比率を求めた。かれらは、単純計算では、2005年時点で20～34歳になっている。
- 13 國家統計局城市社会經濟調查司編『中国城市統計年鑑』（2007年版）中国統計出版社、2008年、29～36頁。  
河南省の調査前年である2006年の人口は、1億0113万人であった。同年の安徽省と江西省の人口は、それぞれ6593万人と4459万人であった。
- 14 表5・6は、若年層の一部と非若年層を30歳以上と一括りにしているので、市内出身者と市外出身者に占める非若年層（35歳以上）の比率を以下に示しておこう。市内出身者と市外出身者に占める非若年層の比率は、それぞれ、北京市の人材交流会が14.3%と2.3%、上海市の人材交流会が16.4%と8.4%、広州市の人材交流会が9.7%と8.7%、鄭州市の人材交流会が17.7%と6.3%、合肥市の人材交流会が8.6%と2.2%、南昌市の人材交流会が10.7%と2.0%である。実際、両者の隔たりが最も小さい広州市の人材交流会は、平均年齢の隔たりが最も小さい。
- 15 巖善平「地域間人口移動の選択性——年齢、学歴と移動率の関係を中心に」同『中国の人口移動と民工——マクロ・ミクロ・データに基づく計量分析』勁草書房、2005年、97～122頁（初出は、「モデル人

口移動スケジュールおよび移動の選択性——中国 2000 年人口センサスのデータを用いて」アジア経済研究所『アジア経済』第 45 巻第 9 号, 2004 年 9 月, 2~22 頁である。)

廠は、2000 年の人口センサスを利用して、高学歴層の移動率（ここでいう移動率とは、総人口に占める 6 歳以上の移動人口の比率である。）が非高学歴層に比較して高い事実を提示している。

- 16 インターネット接続サービスは、端末を所有していなくても一般に「网吧」と呼ばれる店舗で利用できる。
- 17 30 歳代以降の就転職は、人脈を通じて行われる確率が人材交流会を通じて行われる確率を大きく上回るようになると推察される。
- 18 アメリカのサブプライム・ローンの崩壊に起因する金融危機の影響を受けた企業の工場閉鎖や倒産が広東省で相次いでいる事実は、広州市の加工・組立業務を専門とする製造業への雇用依存度が高いことを示す傍証となるだろう。ちなみに、2005 年末の就業人口に占める第二次産業の比率は、前稿の表 3 に示したように、北京市 26.3%、上海市 38.7%、広州市 43.5% である。
- 19 在職者が希望する月給額は、北京市の人材交流会が 3672 元（114 人）、うち男性 3899 元（77 人）、女性 3291 元（46 人）、上海市の人材交流会が 5017 元（188 人）、うち男性 5698 元（133 人）、女性 3371 元（55 人）、広州市の人材交流会が 3116 元（185 人）、うち男性 3218 元（145 人）、女性 2745 元（40 人）であり、全求職者のそれに比較していずれも大幅に高い。
- 20 在職者が希望する月給額は、鄭州市の人材交流会が 1878 元（113 人）、うち男性 1982 元（88 人）、女性 1512 元（25 人）、合肥市の人材交流会が 1691 元（90 人）、うち男性 1849 元（57 人）、女性 1418 元（33 人）、南昌市の人材交流会が 1936 元（107 人）、うち男性 1972 元（93 人）、女性 1700 元（14 人）であり、全求職者のそれに比較していずれもやはり大幅に高い。
- 21 「中華人民共和国労働契約法」（2008 年 1 月 1 日施行）第 17 条。  
社会保険への加入義務は、同法の施行によって使用者・労働者双方とも強化された。使用者と労働者は、労働契約書を作成するにあたって社会保険への加入を明記するとともに、社会保険料を負担するように定められている。  
ちなみに、中国都市部でいう社会保険は、「養老保険」、「医療保険」、「失業保険」（雇用保険）、「工傷保険」（労働災害保険）、「生育保険」（出産育児保険）を指す。「養老保険」、「医療保険」、「失業保険」、「工傷保険」、「生育保険」は、「五金」と表現される場合が多く、「養老保険」、「医療保険」、「失業保険」だけで「三金」と表現されることもある。  
なお、アンケート調査は、常州市の人材交流会から広州市〔第 2 回〕の人材交流会までは「労働契約法」施行以前、成都市の人材交流会から北京市〔第 2 回〕の人材交流会までは「労働契約法」施行以後に実施された。
- 22 柳澤〔2008 年〕, 79 頁, 表 12。  
男性は、人材流入都市の人材交流会では女性に比較して出生地にあげた行政区数が多く、相対的に遠距離から訪れている者の比率が高い。
- 23 丸川知雄『労働市場の地殻変動』（シリーズ現代中国 3）名古屋大学出版会, 2002 年, 第 4 章。  
丸川は、「労働市場の分断」を論じるさいに、非高学歴の市外出身者の採用にあたって地元の地方政府から企業が費用負担を求められている状況や一定の職種に雇用制限を設けられている実態を指摘している。
- 24 筆者は、人材交流会に出展している求人企業がポスターに提示している求人要件を観察したさい、「本市戸籍保有者に限る」という文言を比較的頻繁にみかけた。筆者は、ある出展企業の担当者にその理由を確認したところ、本市戸籍保有者は、人間関係がその地域に張り巡らされている分だけ企業資産を横領して辞めてしまう危険が低いという回答をえた。この回答が注 23 で丸川が指摘している事柄と関係するか否かは、定かでない。
- 25 Harris, John R. and Michel P. Todaro, "Migration, Unemployment and Development: A Two-sector Analysis" in *American Economic Review*, Vol. 60 No. 1, March 1970.

高学歴若年層が労働需給の不均衡（高失業率）を了解しているにもかかわらず地域間移動を行う現実  
は、ハリスとトダロの「期待所得」(expected income) 仮説に合致している。

### 【訂正】

前稿中の諸表に集計結果を中心とする誤謬があったので、お詫びすると同時に、訂正箇所を示しておく。なお、以下の訂正は、前稿の論旨の修正をとまなうものではない。

#### ①表 19 (99 頁)

##### 寧波市

- 女性が希望する月給額 1,874 は、1,876 の誤りである。

#### ②表 19 (続 1) (100 頁)

##### 南京市

- 希望する月給額 2,043 の回答者数 484 は、486 の誤り、男性が希望する月給額 2,267 は、2,265 の誤り、同回答者数 258 は、260 の誤り、同女性が希望する月給額 1,787 の回答者数 206 は、226 の誤りである。

##### 合肥市

- 高校・中専卒の学歴を有する者／有することになる者が希望する月給額の平均額 1,370 は、1,298 の誤り、同回答者数 82 は、80 の誤りである。

#### ③表 20 (続 2) (104 頁)

##### 南京市

- 希望する月給額 2,043 の回答者数 489 は、486 の誤り、男性が希望する月給額 2,267 は、2,265 の誤り、同回答者数 258 は、260 の誤り、同女性が希望する月給額 1,787 の回答者数 206 は、226 の誤りである。

#### ④表 20 (続 3) (105 頁)

##### 北京市〔第 2 回〕

- 30～34 歳が希望する月給額の平均額 3,792 は、3,817 の誤り、同回答者数 25 は、23 の誤り、同年齢階層の男性が希望する月給額の平均額 3,958 は、4,012 の誤り、同回答者数 19 は、17 の誤りである。
- 35～39 歳が希望する月給額の平均額 4,450 は、4,260 の誤り、同回答者数 8 は、10 の誤り、同年齢階層の男性が希望する月給額の平均額 4,100 は、3,950 の誤り、同回答者数 6 は、8 の誤りである。

#### ⑤表 21 (106 頁)

##### 寧波市

- 女性が希望する月給額 1,874 は、1,876 の誤りである。

#### ⑥表 21 (続 1) (107 頁)

##### 南京市

- 希望する月給額 2,043 の回答者数 489 は、486 の誤り、男性が希望する月給額 2,267 は、2,265 の誤り、同回答者数 258 は、260 の誤り、同女性が希望する月給額 1,787 の回答者数 206 は、226 の誤りである。

- 総務職志望者が希望する月給額 1,800 は、1,882 の誤りである。

#### ⑦表 22 (109 頁)

##### 表題

- 社会保険等は、希望する待遇 (2) 社会保険等の誤りである。